

開発的

生徒指導

開発的生徒指導を実践すれば
学校は だいたいよくなる！

出番を与え、その
役割を認識させて、
できるようになりたいと
いう思い、できたことを
承認する生徒指導



多少のことではなくずれない「体力のある学校」づくりができる!!

*体力のある学校＝「荒れない、ゆれない、ぶれない学校」

「出番・役割・承認」のサイクルで教育活動を仕組む!!

*佐賀市立K中学校で'04年に開発され実践された生徒指導モデル

アクティブ・ラーニングも開発的生徒指導!!

*子どもたちが互いに「出番・役割・承認」を行う

コミュニティ・スクールは開発的生徒指導で進める!!

*地域や家庭が主体的に動き出す

I 荒れた学校

1 力をなくした学校

平成14年、背振山系金立山の麓に位置する佐賀市立のK中学校（以下：K中）は、全国紙で取り扱われるほどの生徒指導困難校、いわゆる「荒れた学校」でした。

校内では連日の対教師暴力や暴言、生徒間暴力、授業中は指示に聞き入れない生徒の出入りや私語による授業妨害、校内には数え切れないほどの煙草の吸殻が散乱している状況でした。

学校の荒れは翌年も治まることではなく、平成15年に着任したS校長は当日を振り返って次のように話していました。「校長室から出るのが怖かった。廊下を通ろうとすると、生徒が寝そべって、退こうともしない。逆に睨まれる有様で、足が止まることがよくあった。」

地域からの信頼は失うばかりで、「学校はどういう指導をしているのか。」という苦情の電話が連日寄せられていきました。

平成15年度 K中学校問題行動報告			
月	日	問題行動概略と該当生徒	学校の対応概略
4月	10日(木)	放課後下校中に喫煙（3年男子 MK・NH・HU）	すぐにその場で指導、夜家庭訪問で保護者にも指導
	11日(金)	朝登校途中に喫煙（3年男子 MK・KE）	別室で指導、家庭訪問で保護者にも指導
	11日(金)	放課後大和で万引き（2年男子 U・T・OM・AS）	生徒にも個別指導、保護者召還を行う。
	17日(木)	昼休み2F西窓の外で喫煙（3年男子 TK）	すぐに別室で指導、家庭訪問で保護者にも指導
	24日(木)	放課後金立サ-ビスロア下の高架下でけんか（1年男子 YK・2年男子 OM）	個別に指導、お互いに謝罪、保護者に連絡し保護者同士も謝罪
5月	1日(木)	昼休みトイレで喫煙（3年男子 TK）	別室にて指導・保護者召還で指導
	12日(月)	3年生が前担任に2年生の時取り上げられたタバコとケースを返してくれと言ったが、ケースは返してもタバコは返せないと言うと肩を数回突き飛ばした。（3年男子 MH）	午後から数名の教師で夕方まで指導・謝罪・保護者召還で指導と協力をお願いする。
	14日(水)	金立の高架下で喫煙（1年男子 NS・UK・SS・2年男子 OM）	個別に指導・保護者召還で指導
	15日(木)	昼休み1Fトイレで喫煙（2年男子 OM）	個別に指導・保護者召還で指導
	15日(木)	放課後金立サ-ビスロア付近で喫煙（2年男子 OM・1年男子 NS）	修学旅行中夜中？に女子生徒の財布から1万円抜かれているのが分かった。
	17日(土)	修学旅行中夜中？に女子生徒の財布から1万円抜かれているのが分かった。	修学旅行から帰ってきてから同部屋の生徒などに個別に調査。しかし、詳細は不明であり、学年集会で情報提供と持ち物の管理を指導した。
	17日(土)	3年生が2年生を殴る。2年生が喫煙したので	個別に指導。先輩として指導

平成15年度の問題行動報告の一部

[画像1]

- * 「うちの庭を横切って登下校する生徒がいる。何とかして欲しい。」
- * 「毎日、ジュースの空き缶をうちにポイ捨てする生徒がいる。指導をして欲しい。」
- * 「幹線道路の中央を2ケツ（二人乗り）で走っている。注意したら暴言をはかれた。」
- * 「あんな格好で学校に登校している生徒を学校は許しているのか。」
- * 「コンビニの前で制服を着た生徒が普通に煙草を吸っている。学校は喫煙してよいと言っているのですか。」

2 力を失う職員室

職員室は、こんな思いを持ちながらも、徐々に力を失いかけてきました。

- * 「学校は、指導をしていないわけではありません。」
- * 「地域や家庭との信頼関係を築こうとしていないわけではありません。」
- * 「授業はどうでもよいと思っているわけではありません。」
- * 「問題行動は見てみぬふりをしているわけではありません。」
- * 「生徒に威嚇されるとさすがに身の危険を感じます。」

職員会議や生徒指導協議会では、問題行動の報告がなされるものの、問題行動に対する対処を協議するまでには至らず、指導方法には行き詰まりを感じていました。

生活アンケートを実施しても「特に気になることはない」の欄へのチェックが目立つようになり、コメント欄は空欄が多くなりました。生徒は本音を書くことを避けるようになってきました。

それでも悲痛とも思える生徒の声は担任の先生や部活動顧問の先生を通して聞こえています。ただその声からは、先生に対する不信感や不満ばかりでした。

問題行動＼年度	H15	H16	H17	→	H21
喫煙・生徒間・対教師暴力・万引き・窃盗・器物破損・恐喝	38	20	10	→	3
家出・深夜徘徊	多数	6	4		1
教師への暴言	5	4	2		0
授業さぼり	多数	多数	7		0
地域からの苦情	多数	4	3		0
その他	3	1	0		1

金泉中の問題行動数の推移

[画像 2]

- * 「A先生は授業中、黒板だけの方を向いてしゃべって、書いているだけです。授業はぜんぜん分かりません。」
- * 「プリントの紙飛行機が黒板まで飛んでも、先生は拾おうともしないです。」
- * 「私たち、何も悪いことしていないのに、先生たちはいつも2~3人で校内をうろうろして、私たちを見張っているみたいです。」
- * 「私たちは何もしていないのに、いつも全体で注意されます。意味がわかりません。」
- * 「職員室で先生たちが生徒の話題をしているのを聞いた。」

3 「荒れ」の原因

(1) 十把一絡げの対処的生徒指導

当時の生徒指導を振り返ると、いわゆる「荒れ」が改善しない理由が見えてきます。先生たちはよかれと思い指導をしているのですが生徒には伝わらない場合が多くあります。金泉中でもそうでした。

例えば、校内で生徒指導上の問題が発生すると、その日のうちに臨時の全校集会が開催されます。問題を起こしたであろう生徒以外は、なぜ臨時全校集会が開かれるかわからぬまま、体育館に入場します。緊張感の漂う体育館では生徒指導担当の先生が、「こんなことが起こった。あんなことが起こった。」と話をして、全体指導をします。場合によっては校長がマイクを持つ時もありました。

問題を起こした生徒がわかっていれば良いのですが、そうでない場合は、まず全校生徒若しくは学年の生徒を集めて、「やった人は正直に名乗り出なさい。」という指導をするわけです。学校としては「みんなで事の事実を認識し、みんなで問題が起きないような雰囲気づくりをする。」ことが目的なのですが、そのような指導で名乗り出る生徒はありません。「どうせ怒られる。」と思っているからです。さらに生徒の多くは、「先生たちがちゃんと指導しないからこうなるのでしょう。」と思ったり、「なぜ、私たちが怒られなければならないの。」と思ったりします。先生への不信感が高まるとともに、一人一人の自己肯定感は低下します。また、その不満は保護者へと伝わり、子どもと同じ思いを保護者が共有することに発展します。

ある中学校では、このような指導をしたその日の放課後、女子トイレの扉の裏側に、「無能な教師どもめ！」と書かれていました。その学校では、改めて学年の女子生徒だけを集めて集団指導が行われたそうですが、今度は落書きがされていた同じ扉に「まだ分からないのか教師どもは。」と書かれていたそうです。

これは、当時、このような指導を受けていた生徒が大人になった時の言葉です。

* 「問題が起きないような雰囲気づくりってどうすればよいのでしょうか。しかも、問題を起こす生徒は、私たちにとって怖い生徒です。その人たちに何かを言うとか、雰囲気をつくるとかできるわけありません。」

* 「先生たちが指導できないからって生徒に言うのはおかしいと思っていた。」

②指導の対象がいわゆる1, 2番手以外の生徒

例え方はよくありませんが、問題行動系の生徒たちの中には、いわゆる1番手と言われるリーダー的存在がいる場合があります。

1番手の生徒は1名と限ったわけではなく、複数名いる場合もあります。一般論ですが、1番手の生徒が登校した時は、校内の空気が一変することがあります。

往々にして問題が起こっても関係した生徒の中に名前が出てこない場合があります。このような生徒と信頼関係が築くことができる先生であれば、話をして、言って聞かせることもできるでしょうが、全ての先生ができるわけではありません。

また1番手の生徒は、指導をしたくても指導ができない場合が多々あります。保護者を交えて相談をしたくても、指導内容に対する関心が保護者にあまりなかったり、その生徒が保護者の言うことを聞き入れないことによる保護者の諦め感があつたりすることが理由としてあげられます。

しかし1番手以外の生徒には、校内でのすれ違いざまの生徒指導、通りすがりの生徒指導、保護者への連絡や学校での保護者教育相談などが行われます。

先生としては、その都度、ていねいに行っているつもりなのでしょうが、対象生徒やその家庭からすると、「あの子（1番手）はしなくて、いつもうちの子（自分）ばっかり指導される。」との不満を持ちます。すれ違いざまの生徒指導や通りすがりの生徒指導は、生徒にとっては突然注意を受けるため、反省より不信感が先に立ちます。このような指導を繰り返すと、不満だけが蓄積し、その不満はやがてあふれ出し、より大きな問題行動へと発展することがあります。

K中では、ある時、2番手以降の生徒が集団で先生たちを取り囲み、こう言いました。「わがどん、あいには（一番手の生徒）言いきらんくせに、なんでおいどんにはばっかい言うときゅ。なめとっとか!!（先生たちは〇〇君を怖がって何も指導をしないでいるくせに、なぜ俺たちには指導をするのか。の意）」

当然のことながら、2番手以降の生徒はさらに問題行動を起こすようになり、中間層の生徒は不信感を持つ生徒と問題行動を起こすグループに引き込まれて行くようになりました。

先生のすれ違いざま・通りすがり生徒指導

- * 「授業中だろう。そんなところでしゃべっていたら授業の迷惑になるだろう。」
- * 「また、シャツを出している。ここで、今すぐ入れなさい。」
- * 「いつになったら、髪の毛は元の色に戻すのですか。」
- * 「眉そりはいけないでしょう。二度と手を入れてはいけません。」

③いわゆる中間層の生徒たちを育てていない

中間層の生徒とは、問題行動は起こさいが特にリーダーとして目立つ生徒ではないタイプ、または、問題行動は起さないが身だしなみで気になる生徒のタイプ、を例えています。

ある荒れた中学校で生活アンケートを実施した時の話です。これまで「悩みはないか。」や「いじめを見たことがあるか、いじめられていないか。」との項目でしたが、新しい生活アンケートには「先生に期待すること、お願いしたいこと」という項目を付け加えました。すると、多くの生徒がその項目だけに思いを記してきました。

「先生たちに期待しない。どうせ何もしてくれない。」と読み取ることができる中間層の生徒からの回答です。普段の学校生活では、笑顔で会話し、授業を妨害するような生徒ではないので、先生たちは安心していたのでしょう。しかし、ふだんからそのような生徒たちの心のつぶやきを、ていねいに拾うことができていなかった結果がアンケートに表れたわけです。ネガティブに捉えると、問題行動への対応ばかりに終始し全体を見ずして、生徒指導を行っていたわけです。

生徒と言わず、全ての子どもは良くなりたいと思っています。学校が荒れていようが荒れていまいが、中間層の生徒たちの自己肯定感を高める手立てをていねいに仕組むことをしなければ、「荒れ」を加速させます。

「問題行動は多くないが、全体的にあまり良い雰囲気ではない。」や「全体的に空気がどんどんよりしていく霸気がない。」と先生たちが感じるのであれば危機感を持った方が良いでしょう。

④校内で問題行動が起こると短縮授業、一斉下校

「校内で爆竹を鳴った」「複数枚の窓ガラスを故意に割られている」「生徒が先生の胸ぐらをつかんでいて、他の数名の生徒は他の先生を威嚇している」などの問題が起こると、「他の生徒を落ち着けるため」と言う理由で、全校生徒をすぐに下校させることができます。

多くの生徒はその事実や理由が知らされないまま一斉下校させられます。下校後、友だち間で何があったのかを知ります。そして、生徒の多くは、「私たち関係ないのに下校させられた。」と思うか、「ラッキー、遊べる。」と考えます。勉強を大切にしたいと考えている生徒は、「また、下校？」や「45分授業ばかりして勉強ができない。」と感じています。

また中学生ともなると、学校の様子を保護者に伝えない生徒もいますので、保護者はそのような事実を知らないでいることもあります。後々、保護者間でうわさが回り、そのうわさは大きく伝えられていきます。

生徒や保護者からすれば、「問題行動が一部であったからと言って、なぜ下校させるのです

か。」と言いたくなるでしょうし、「今回の問題行動のことで、臨時職員会議を開くことになりましたので。」とでも言えば、「なぜ、生徒を下校させて会議を開くのですか。夜やればいいでしょう。」と返ってくるでしょう。

学校への不信感はふだん感じていてもあまり聞こえてきません。しかし、わが子の不満が限界にきていると保護者が感じると、これまでの不満や不信感が渦となって湧き上がってきます。その渦は学校批判や学校不信だけに収まらず、生徒の学力や個性伸長に良い影響を与えません。

問題行動による臨時一斉下校は、場合によって「荒れ」を加速させていることもあります。

⑸ 「家に帰って正してきなさい。」

朝の登校時にあいさつ運動を行う学校がありますが、そこでは生活面の指導も同時に行われていることがあります。「家に帰って正してきなさい。」これは特異な髪型や服装をしてきた生徒に対して行われる指導です。登校した生徒を学校には入れず、そのまま帰宅させるわけです。このような指導が多くなると、うかつに保護者への連絡や相談もないままに指導を行ってしまうことがあります。

特異な髪型だからと言って、朝、登校してきた生徒に「家に帰って床屋に行ってきなさい。」と言っても、その時間帯に床屋は開いていません。家に誰もいなかったらどうしましょう。帰宅途中に交通事故に遭遇すると明らかに学校はその指導方法が問われます。

特異な髪型の例

- * ツーブロック
- * ソフトモヒカン
- * 襟足が異様に長い
- * 剃りこみ、リーゼント
- * 部分的な長くしたり短くしたりする
- * 横の髪を前に垂らす
- * 前髪をゴムで留める
- * 後を団子でまとめる、横や斜めにくくる
- * 前髪をピンで留めてそろえる
- * 染髪、脱色、カールやパーマなど

生徒や保護者からすると、「うちの子（自分）は学校から排除されている。」と思われても仕方ないでしょう。その後の指導はさらに難しくなります。

別室に入れて見通しを一緒に立てることや、なぜ別室に入らなければならないのかを、たとえ理解、納得しようとしなくとも、まずは話して聞かせることが大切です。

加えて、中間層の生徒も心の中では、「先生たちは指導できないから帰している。」「学校にいると邪魔だから来させないようにしている。」と呟いやいたり、「あいつらが来ないから学校が落ち着いていい。」と考えるようになります。

Ⅱ 開発的生徒指導の誕生

1 これまでにない学校教育目標

「確かな学力を～」や「豊かな心を育成～」はよく目にする学校教育目標であり、先生たちにとってもそれが一般的な学校教育目標と認識していました。ただ、そのような一般的な学校教育目標の達成を意識して日々の授業を行なったり、生徒指導をしたりしていたかと言えば、そこはクエスチョンでした。しかしＫ中学校の学校教育目標「元気あふれる学校」は、なんとなくどうすれば生徒が元気になるかとか、元気になるまでには色々な困難を越えさせなければならぬという思いを持つきっかけともなりました。

(1) 学校教育目標は「元気あふれる学校」

これ以上の学校の荒れがあろうかと言うくらいの平成15年春、Ｋ中学校に教育事務所長が校長として着任しました。

そして「元気あふれる学校」という学校教育目標を掲げました。これまで聞いたことのない学校教育目標でした。

ねらいはただ一つ、「『みんなが一つになって元気な生徒を育てよう』でした。「みんな」とは教員だけでなく、事務職員も含めた全教職員を指し、年度当初、その思いは全教職員に伝えられました。

(2) 開発的生徒指導誕生のきっかけとなった 参加体験型芸術劇場

学校が荒れているときに、芸術鑑賞（一般的な芸術団体や芸術家などに依頼して芸術にふれる学習活動）として一般の歌劇団を呼ぶことはあまり考えません。生徒の態度が悪かったり、失礼があったりしてはいけないと考えるからです。

「荒れ」のピークだった平成15年、Ｋ中学校は藤原歌劇団を招いて芸術鑑賞を行いました。この授業は、劇団員の指導の下、生徒がオペラの一幕を演じるという内容でした。問題行動系の生徒も参加していました。想定内かどうかは分かりませんが、授業開始直後は劇団員の言うことをほとんど聞かず、目を覆いたくなるような態度や言動を繰り返していました。

ところが、劇団員の方々は、生徒を事あるごとに褒めていました。目を覆いたくなるような態度を繰り返す生徒に対しても同じでした。すると、かたくなだった生徒の顔は次第に和らぎ始め、「今のはとても良かったね。」「上手にできているよ。」と劇団員から声をかけられると喜ぶ態度を示すようになりました。

公演が終わり、劇団員を乗せたバスが校門を出ていく時には、問題行動系の生徒も手を振って見送りました。中には涙を流しながら別れを惜しんだ生徒もいました。



[画像3]
芸術鑑賞では、プロの音楽家、バレエ、書道家、演劇団体などを体育館で鑑賞したり、体験したりして生徒の情操を養います。【画像はイメージ】

この参加体験型芸術劇場を終えて、校長は後日、次のような感想を述べています。

「こうした生徒の姿を見て、私が何より感じたのは、子どもが『承認』されることに飢えていること、そして、承認の機会を与えてこなかった、これまでの生徒指導の在り方への反省でした。私たちは、対外的に良いところだけ見せようとして、問題を起こしそうな生徒には、積極的に何かをさせようとはしていませんでした。ところが、劇団の方たちはそうした生徒にも、先入観なく認めたり褒めたりして接していました。問題を抱えた生徒も含め、すべての生徒に出番を与え、役割を成功させるためにかかわり、そして頑張りを認めることの大切さに気付かされました。」（S校長）

③現実を知らされた入学式

学校課題を明らかにして改善を図ろうとした平成16年度でしたが、翌年の冬、教職員は学校への信頼が全く回復していないという現実を知ることになります。

Ｋ中校区には2つの小学校があります。例年、市内の中心部に位置する国公立、私立中学を受験する児童が5名から10名程度います。

平成17年度の金泉中への入学予定児童数は101名、そのうちの67名が国公立、私立中学を受験していました。理由は「荒れている金泉中学校には入学したくない。」という児童の思い、「あんな中学校に入学させたくない。」という保護者の切実な思いからです。

受験した児童のすべてが夢叶わず、金泉中に入学することになりました。入学式当日、「新入生、入場。」のアナウンスとともに体育館に入場してきた新入生のうなだれた姿は今でもまぶたの裏に焼きついています。

入学式も終わり生徒が下校した後の職員室では、「本来なら、夢と希望に満ち溢れた姿で入学式に臨む新入生のはずなのに、あれではあまりにも可愛そうだ。何とかして学校を良くしよう。そして、せめて卒業式の時にはあの子たちが金泉中でよかったと思えるようにしよう。」と何人もの先生たちが声を上げていました。

3年後、開発的生徒指導によって育ったその生徒たちは校内外での活躍が広く知れ渡り、各地のPTAからは「金泉ブランド」と呼ばれるようになりました。

2 価値付けされた生徒指導の手法

① 生徒の良さを引き出し、生徒の良さを伸ばす

平成17年度は、問題行動も減少し職員室の閉塞感も随分緩和してきた年です。

[画像4]

生徒指導協議会では、事例研究やインシデントプロセス法などを取り入れた研修会が開かれるようになりました。職員会議では、開発的生徒指導の視点で企画された学校、学年行事の提案がなされるようになりました。校内研究会では、生徒の良さの引き出し方、良さの伸ばし方を議論するようになりました。



金泉中で使われた開発的生徒指導のロゴマーク。何にでもこのマークを入れることとした。

生徒に対して、「いろいろなことに挑戦しなさい。」と言っても、生徒はどう挑戦してよいのか分からない、何に挑戦してよいのか分からないものです。そこで、生徒の出番を行事ごとに設定することにしました。つまり、開発的生徒指導を仕組むことです。その中で重視したことは、これまで先生がする場面だと思っていたことを生徒にさせることと、「この生徒にこの出番を仕組もう。あの生徒をこの出番で成功させよう。」でした。

② 開発的生徒指導の視点で教育活動を見直す

まずは、学校行事を中心に関発的生徒指導を仕組みました。始業式での各学年代表の生徒

がその学期に対する抱負を発表する「決意発表」、終業式では学期を振り返る「振り返り発表」を仕組みました。生徒の善行を先生が付箋紙に書いて掲示する取り組みは「生徒の良さボード」と名付けました。

小学6年生とその保護者を対象とした新入学説明会、3年生高校説明会、学年集会、修学旅行、または学校全体にかかる体育大会、文化発表会などの行事に対して、生徒会役員が主体となってできる行事、学年のリーダー的生徒（学級総務役員など）が主体となってきでできる行事、学年や学校全体から募集した生徒で行うことができる行事に振り分け、考えられる出番、役割、承認の場面をその都度計画しました。（詳細については、事例欄に紹介しています。）

③ 「学校公開」

これ以上の開発的生徒指導の取り組みはない

地域や保護者の信頼を回復させた取り組みとしては、多目的公共施設のアバンセを全館貸切りで行った「学校公開」でした。アバンセは学校から約8km離れた佐賀市中心部位置する多目的公共施設です。大ホール完備で研修室もあり、市の出先機関の事務所もある複合施設です。

大ホールでは『学び合い』を取り入れた模擬授業が2時間（2コマ）開催されました。研修室では、生徒会活動報告や学校行事などで取り組んだ開発的生徒指導の事例報告を生徒が行いました。

会場となったアバンセでは、当日も開発的生徒指導が仕組まれました。地域や一般の方も自由に参観できましたので、駐車場誘導担当、受付担当、館内案内担当、託児所担当など多くの出番、役割を設定しました。通常、PTAや職員が受け持つ仕事もすべて生徒にその役割を与えました。

アバンセで開催した「学校公開」は、これまで生徒指導困難校というレッテルを一気に払拭するとともに、生徒だけでなく地域や保護者にも大きな自信を与えたものとなりました。



アバンセ学校公開で総合司会となった生徒のホールステージでのアナウンス



アバンセ学校公開では受付案内もすべて生徒



アバンセ学校公開で託児所担当となっている生徒のようす

|(4)「それって、開発的生徒指導って言うんですよ。」

問題行動が減少してきた平成17年、職員室では改めて生徒指導について考えるような空気が漂い始めました。

ア. 問題行動がなくなってきたからそれで良いのだろうか。平和ボケしていたら、また問題行動が多くなるのではないだろうか。

イ. 生徒指導は生活指導というイメージがあるが、「生徒指導＝教科指導」という言葉がある。

ウ. 生徒の良さを伸ばす生徒指導の手法に名称をつけることで理解を広く求めることができるのでないだろうか。

エ. 学校が落ち着いてきたからと言ってそれでいいわけない。また、問題行動をここまで減少させ、生徒が良くなった背景にはそれなりの努力があったことを知ってもらいたい。

当初、生徒指導上の問題が発生したら素早く対応する生徒指導を対処的生徒指導、問題が起こらないように予防したり心を育てたりする生徒指導を予防的生徒指導、または積極的生徒指導と価値付けしようとしていました。そのような折に、当時、佐賀大学文化教育学部の倉本哲男准教授（現：愛知教育大学教授）に指導を仰いだ結果、「それって、開発的生徒指導って言うんですよ。」と指摘されました。以来、現在に至っています。

倉本哲男先生は、この時、次のように念を押されました。「学校は、問題が起きてから対応する対処的生徒指導に終始せず、生徒一人一人に出番を与えて役割を果たさせ、その行動を承認することによって、生徒の責任感や自信を育て、良いところを伸ばしていく開発的生徒指導の実践が大切です。」

以後、職員室では、先生が数々のアイディアを出し合い検討を重ねながら独自の開発的生徒指導を作り上げていきました。職員室の誰が言ったかは覚えていませんが、「対処や予防より開発的の割合が多くなるといいね。」と言う声が鮮明に残っています。

|(3)全ての生徒にはその子なりの良さがあるはず

例えその行為が問題行動に値するよくないことであっても、人は否定されるだけに終始されると、その人は良さを出そうとしなくなることがあります。なぜならば、自己肯定感の欠

如が助長されるからです。生徒であればなおさらのことです。無論、その時の指導が仮に対処的生徒指導であっても、その後の指導が、意図的な予防的生徒指導、開発的生徒指導であれば、継続的な指導の過程でその生徒は自分の良さを徐々に発揮しようとする心を持つかもしれません。

さて、多くの生徒とかかわる中で、生徒のこんな良さ、あんな良さを感じたり、聞いたりすることがあります。金泉中学校の職員室でも次のような話が話題になっていました。

3 生徒のこんな良さ、あんな良さ

(1) その1…やっていることはいけないだが、根は悪くないと言われる生徒

「先生、ごめん。先生が言っていることはわかるけど、今の俺にはできないんだよね。」

この言葉は、ある荒れた中学校のいわゆる問題行動を繰り返す生徒が、担任の先生につぶやいた言葉です。

この生徒は、「あなたは大変な子」、「あなたはいけない生徒」、「あなたは悪い生徒」と周囲からレッテルをはられていると感じているかもしれません。相手が自分に対してそう思っていると感じていれば、そのような生徒は心を開きません。心を開かない生徒は、自分の心の弱さや、辛さ、悲しさを出そうとしないため、その子の良さは伝わりません。しかし、かかわりが深く信頼関係が厚ければ厚いほど、生徒はちょっとしたことで自分の良さを表します。

問題行動を繰り返し行うこの生徒に対して、厳しい指導を繰り返し行いながらも、この生徒は担任の先生の優しさ、温かさを感じ、自分が見放されていないと強く感じていることが短い言葉からうかがい知ることができます。

この生徒の「根はいい」と表現されるところが、この生徒の良さと言えます。

(2) その2…身だしなみはよくないが、何かと友達といっしょに活動したがる生徒

「先生、私もやってみたいけどだめかなあ。」

この言葉は、喫煙、深夜徘徊は日常的、登校時も身だしなみのよくない、いわゆるアイブチ茶髪眉そりミニスカート貴金属ジャラジャラの女子生徒のつぶやきです。

開発的生徒指導による進学説明会が実施されることになり、進学説明会実行委員会が立ち上げられることになりました。この生徒も実行委員会に参加したいと打ち明けてきました。

開発的生徒指導による進学説明会実行委員会は、委員長、副委員長、会場責任者、司会進行担当、質疑応答担当、環境掲示担当、講師誘導担当と多くの役割が設定されています。一般的な進学説明会は、進学系の高校から実業系の高校、女子高、男子高関係なく、すべての高校の説明を3年生全員が臨んでいました。そのような原始的な企画を廃止し、生徒主体の活動と仕組むのが開発的生徒指導による進学説明会です。



3年生進学説明会で案内担当となった女子生徒

実行委員会の役割は、生徒にとって難しいと思える出番もあれば、自分にもできそうかも思うことができる出番もあります。

この学校では多くの生徒がこの出番に臨むため、「自分も実行委員で何かやってみたい。でも、服装や髪型でいつも怒られているから許してもらえるはずない。たぶん、だめだと言われる。」と思っていたようです。でも、そのことで相談に乗ってくれた友達に「先生に言ってみれば。私もいっしょに付いて行ってあげるから。」と言われ、駄目元で先生に相談したようです。

この生徒のこのような心の動きがこの生徒の良さと言えます。

そもそもどんな生徒にも意欲があれば出番を与えようという方針を開発的生徒指導としていましたので、担任の先生の回答は「Yes」です。

先生は、どちらかと言えば「できる生徒」「できそうな生徒」、いわゆる生徒会役員や部活動の部長、副部長、学級のリーダー的存在の生徒に出番を多く与えます。なぜなら、そのような生徒は役割を難なくこなすからです。来校者に対する印象も良いでしょう。学校の面子や表向きも大切ですが、学校は教育の場です。校則や学校のルールを守ることが先だという指導をしていては生徒の良さは伸ばせません。生徒の「できるようになりたい。」という気持ちを「できるようになった。」とすることができます、その生徒は他の面をさらに伸ばしたいと思います。そのサイクルを繰り返すことで自然に正すべきところが正されてきます。

先生に必要なことは、「待つこと」です。

この女子生徒は、その後少しずつですが、身なりや生活のリズムがよくなってきました。3年生の冬には身だしなみも勿論のこと、休み時間などは学級の仲間と一緒に受験勉強をするようになりました。

(3) その3…クラスでは決して目立たず手のつかない生徒

「地域の者です。買い物帰りに、荷物が重すぎて座っていたら、お宅の中学生と思うのですが、自宅まで荷物を運んでくれました。とてもうれしく思いました。ありがとうございました。くれぐれも学校でご紹介してくれば幸いです。」

この電話は地域の方からの通報です。ややもすると、このような電話は受けただけで生徒に紹介したり、その生徒に直接伝え、褒めたりする（承認の場）ことがない場合があります。この生徒の出番は意図的に設定されていませんが、良い行いをしたことは事実です。学校では、放送で紹介をしたり、全校集会で校長表彰をしたりして承認する場があれば他の生徒にも良い影響を与えます。

ちなみに、この生徒は、学級ではあまり目立たぬ無口な生徒でした。

4 定義づけされた開発的生徒指導

「生徒指導」と聞くと生活指導や問題行動に対する対応を想像しがちですが、本来、生徒指導は学校内外の全ての教育活動を通して行われるもので、つまり、教科指導、学級指導、部活動指導、さらには地域での活動など、すべての教育活動場面で生徒指導は発生しますので、それぞれの場面において生徒指導は展開されなければなりません。そう考えると、おのずと生徒指導を進める時に、その対応が問題行動に対する生徒指導なのか、それとも、事故、事件に巻き込まれないための生徒指導なのか、さらには、学習活動を通して自信や責任感を育て、個性伸長を図るための生徒指導なのか、ていねいにすみ分けをして意図的にその手立てを仕組むことが大切ということになります。

そこで、画像10のように、ここでは生徒指導を対処的生徒指導、予防的生徒指導、開発的生徒指導の3つに分類します。

[画像10]

生徒指導の種類

●対処的生徒指導

問題行動等が発生した時に、学校がその問題に対して速やかに対応し、問題の収束と解決を図る生徒指導の方法

●予防的生徒指導

予想される問題行動、または事件や事故に直面したり、巻き込まれたりしないために、それらから回避する方法を事前に教えたり考えさせたりする生徒指導の方法

●開発的生徒指導

対処的生徒指導、予防的生徒指導を連動させながら、生徒の良さを引き出し伸ばす生徒指導の方法

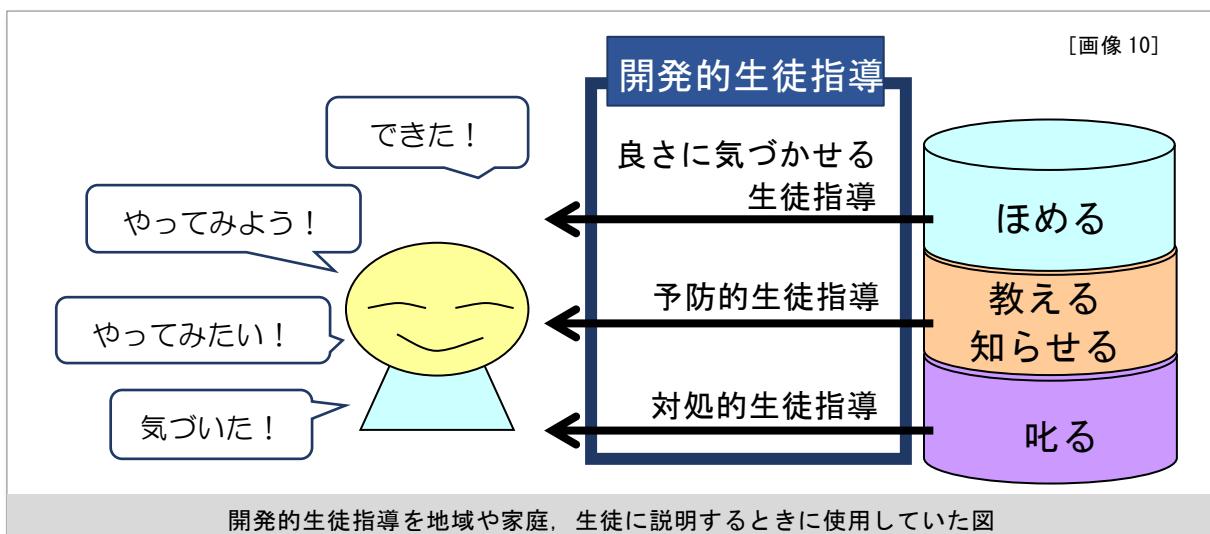
出典：「開発的生徒指導論と学校マネジメント」

（倉本哲男編著/ふくろう出版）

対処的生徒指導は対教師暴力や生徒間暴力、暴言や授業妨害、喫煙、夜間徘徊、いじめ、授業エスケープなどで、これらの問題を起こした生徒、関係した生徒に行われる事後指導を指します。

予防的生徒指導は、長期休業前に全校集会等で行われる生活指導面の事前指導のお話が代表的です。近隣の危険箇所の紹介、日々の生活のリズムに関する話、「ああすればこうなる。」や「こんなところに行くとこうなるかもしれない気をつけるようにしましょう。」の指導です。

開発的生徒指導は、生徒の良さを引き出したり、良さを伸ばしたりする生徒指導を指します。対処的生徒指導や予防的生徒指導に比べるとイメージしにくいでしようが、学校の教育活動を通して、「やってみたい。」と思いたくなることを先生が仕組んだり、「やってみよう。」と思ったことをできるようになるためにその手立てを仕組んだりして、「できた。」という成就感や達成感を持たせる生徒指導を指します。



画像 10 では、開発的生徒指導は対処的生徒指導と予防的生徒指導を含めた生徒指導と示していますが、仮に対処的生徒指導からのスタートであっても、短期的には対処的生徒指導であり、事後指導では、中・長期的に予防的生徒指導や良さに気づかせる生徒指導に導くことが求められます。つまり、悪いことをしたから対処的生徒指導だけを行ったり、悪いことをするたびに対処的生徒指導のみを行ったりしていたのでは、生徒の隠された良さを引き出すことはできません。そのような意味を込めた開発的生徒指導です。

『「学力」の経済学』(教育経済学者:中室牧子 著)には、「人生の成功において極めて重要な誠実さ、忍耐強さ、社交性、好奇心の強さ、これらの非認知的能力は、人から学び、獲得するものである。学校とは、ただ単に勉強をする場所ではなく、先生や同級生から多くのことを学び、「非認知能力」を培う場所である。」と記されています。開発的生徒指導はこの理論に合致します。学校には学校行事があり、全校的な行事から学年行事まで年間数多く設定されています。

教科・領域等の授業場面においてもアクティブ・ラーニングを仕組めば非認知能力は育ちますが、行事等での仕組みは非認知能力の育みに極めて有効だということは明らかです。ただしそこで重要なことは、手立ての仕組み方です。ややもすると、生徒一人一人の出番は設定されていますが、その役割の価値や手順のレクチャーがない場合があります。増してやせっかく満を持して臨んだにもかかわらず、紹介されるだけに終わったり、認められる場面もなく次の活動にスライドしていたりしたら、その生徒は目も当てられません。

そこで、生徒一人一人の非認知能力高める開発的生徒指導を仕組むために、まずは【出番一役割一承認】と言うキーワードを設定し、生徒も先生も保護者も地域も、生徒にかかわる全ての人とともに共通理解します。付け加えると、開発的生徒指導は地域連携の要素を含み、今後広がりと定着が予想されるコミュニティ・スクールの将来像を想定することができます。

5 キーワード [出番一役割一承認]

「ちゃん、ちゃん、ちゃん」という3拍子のリズムは意外と人の心に響き、言葉を忘れかけていても、ちょっとしたきっかけで思い出すことがあります。また、3拍子のリズムは笑みもこぼれます。思い出せばなおさらです。「ああ、そうだった。そうだった！」と言う感じで。

さて、【出番一役割一承認】の出番は、生徒の出番を意味します。行事等に仕組まれる出番ですので、往々にして先生が仕組みますが、生徒の主体的活動が軌道に乗ると、生徒自らが出番を設定したりするようになります。大きな学校行事では生徒会が出番を仕組み、その役割を明らかにできると、もはや開発的生徒指導は生徒自身で進める生徒指導のあり方となります。

ここで、開発的生徒指導を【出番一役割一承認】で具体的にイメージしていただくために、その事例に少しだけふれておきます。

例えば、入学式の司会です。一般的に儀式的行事ですので、先生が企画運営することと思いがちですが、司会進行を生徒にさせる手もあります。入学式の来賓対応も一般的に校長や教頭が行います。これを生徒の出番とします。受付場所からの来賓室までの誘導係、来賓室での接待係、入学式会場までの誘導係などを設定すれば、役割はおのずと生徒自身が考えるでしょう。

係になった生徒の対応が物足りない場合は、先生が横で囁いてあげればいいだけの話です。
(詳しい仕組みは後述します)

最後の承認場面ですが、前述したとおりに意外とこの承認場面の設定が仕組まれていない

ことが学校の課題と述べました。そこで、どのように承認場面を仕組めば良いかをふれておきます。

来賓の方々には、開発的生徒指導による入学式の取組を事前に説明しておきます。受付係の役割、誘導係の役割について説明するとともに、係の生徒はどのような生徒か、その生徒にとってはこの係は大舞台なのかそうでもないのかなども説明しておきます。そして、そのことを知った上で褒めてくださいとお願いをしておきます。教育は全て意図的でなければなりません。開発的生徒指導も意図的に行うものです。

すでにこのような取組のあり方が地域連携、コミュニティ・スクールの要素を含んでいることにお気づきになったのではと思います。



[画像 11]

生徒司会の入学式【鏡中学校 H29 年度】

6 構想図のデザインは大切

開発的生徒指導はロマンです。ロマンを持てばそこに感動的なドラマが待ち受けているのは必然的です。

生徒にとっての出番・役割・承認場面はどのようにでも設定できます。どんな場面でも設定できます。学校、生徒や地域の実態に応じなくてできません。もし、「うちの生徒にできるだろうか。」と感じるのであれば、それは学校の面子や先生の理想とする出来栄えを基準にしているからかもしれません。学校は子どもを大人に育てるところです。どれだけ成長したか、どこまで成長したかを図る場所であり、どれだけ成長させることができたか、どこまで成長させたかが学校のミッションです。

* 「やっとやってみたいという気持ちになったようです。」

* 「この出番の役割の事前にレクチャーしたいのですが、どんなふうにすれば効果的でしょうか。」

* 「この子にどんな出番を設定すれば、挑戦しようという思いになってくれるだろうか。」

* 「この出番で成功させたいから、○○先生はどうかわってもらえますか。」

* 「この子の出来栄えは素晴らしいので、承認の方法をもっと広げたいと思います。」

人は何がきっかけでスイッチが入るか分かりません。思いもしない言葉やかかわり方が、その人にとっては最高のきっかけになるかもしれません。そう考えると、生徒一人一人のス

イッチが一つでは困ります。より多くのスイッチを準備しなければなりません。つまり、[出番・役割・承認]を仕組む際に校内をそのフィールドにしていったのでは、活動が限られてきます。外部講師や来賓、または来客の出入りによる[出番・役割・承認]場面はあるものの、普段の行事等では、その学校職員との接点しかなく、自ずと学校職員からの承認のみと限られてきます。無論、全校表彰や紹介で承認場面の広がりは設定できますが、できれば承認場面を地域に求めることをすれば、より多くの生徒のさらなる自己肯定感の高まりの期待ができます。

さらに、中学生ともなれば、学校外からの承認が校内での承認と比較にならないほど効果的です。「世の中の大人は、本当にこんなことをすれば認めてくれるんだ。やっと分かった。」と感じることができるでしょう。

生徒一人一人の自己肯定感の高まりは[出番・役割・承認]というサイクルの中にドラマとして現れます。自分に自信を持った瞬間がドラマです。自信を基に次への挑戦を考えた瞬間がドラマです。そんなドラマが家庭や地域で話題となればその瞬間がドラマです。自分の良さが地域、学校、友達間で話題となれば、その生徒は、伸びている実感を持つでしょう。見守られている実感を持つでしょう。勉強することの大切さや家庭、地域の大切さを実感するでしょう。もっと認められたいと思うようになるでしょう。規範意識が育つでしょう。そして、自分自身の大切さ、命の大切さを実感することになるでしょう。このような全ての場面の瞬間にドラマがあります。

こんなロマンを持ち続けながら開発的生徒指導を仕組みたいものです。

①開発的生徒指導の基本デザイン

生徒の出番・役割に対する承認は大人だけが対象ではありません。人は褒めてくれる人が例え相手が幼児だろうと、小中学生だろうと、大人だろうと年齢に関係なく褒めてもらえば嬉しいものです。無論、褒めてくれる人の身分や役職が自分より上位だったり、尊敬している人や大切にしている人であったりすれば、人はより一層の喜びを感じるものです。

長期休業中に行われる小中連携の取組では小学生を対象とした中学生による「学習ボランティア活動」を仕組むことができます。端的に言えば、中学生が、小学生に勉強を教えるという活動です。

中学生に出番、役割、承認が発生します。出番は、小学生に勉強を教えに行くこと、役割

【画像 12】



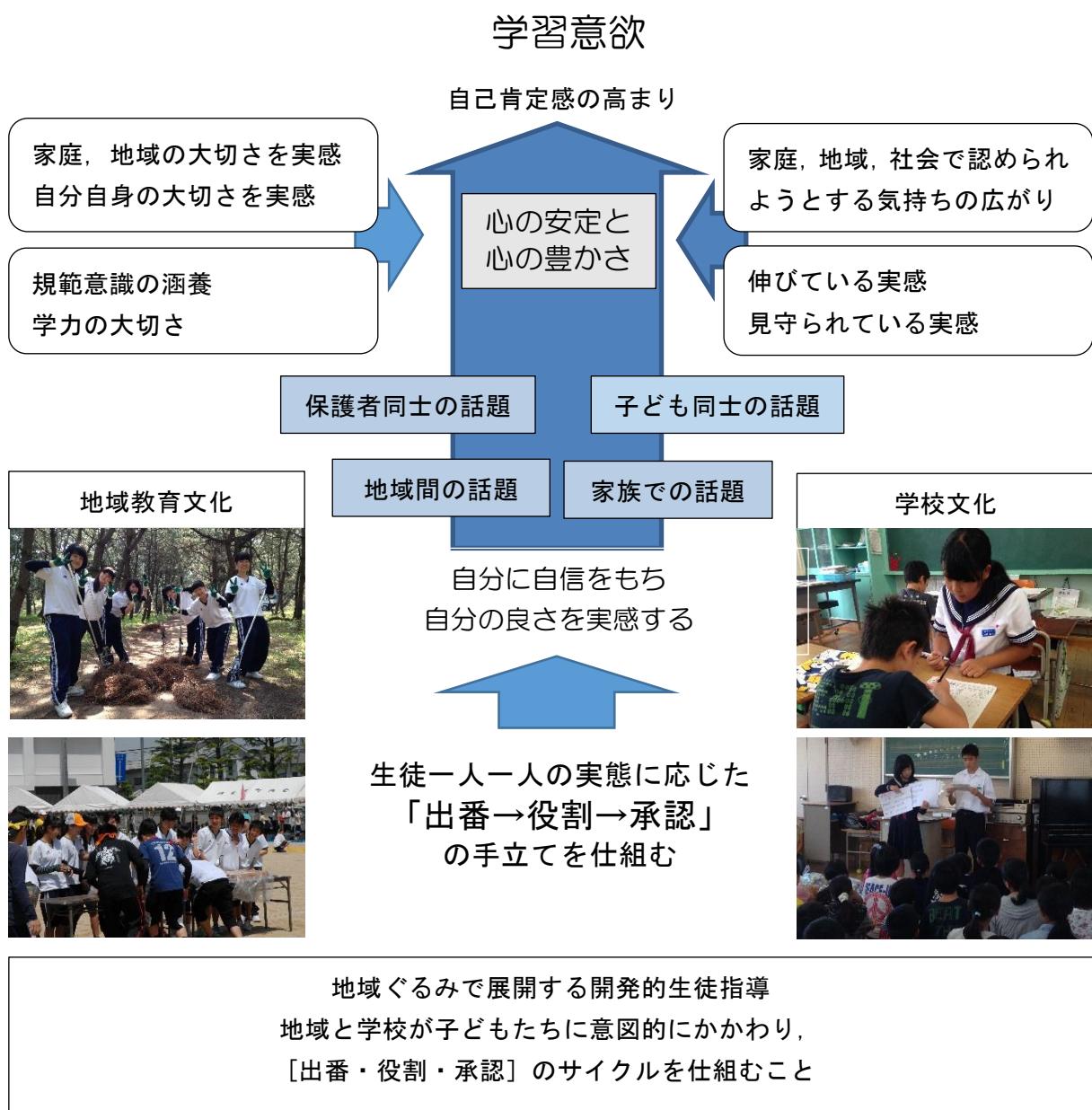
鏡中生による夏休み学習ボランティア活動【鏡中 H25 年度】

はていねいに分かりやすく教えて、小学生が満足することです。

承認は、勉強を教えてもらう小学生から発生します。数年前までは同じ小学校の学び舎で学校生活を共にしていた上級生が、中学校の制服を身にまつた途端に大きな大人に見えてしまいます。近いようで遠い存在になってしまった中学生から勉強を教えてもらえば、小学生の純粋な態度や表情が自ずと承認の姿を表現します。

さらに、このことを地域で取り上げたり、小学校の先生から感謝の言葉があつたりすると承認は広がります。

[開発的生徒指導の基本デザイン ~自己肯定感の高まりと学習意欲~]



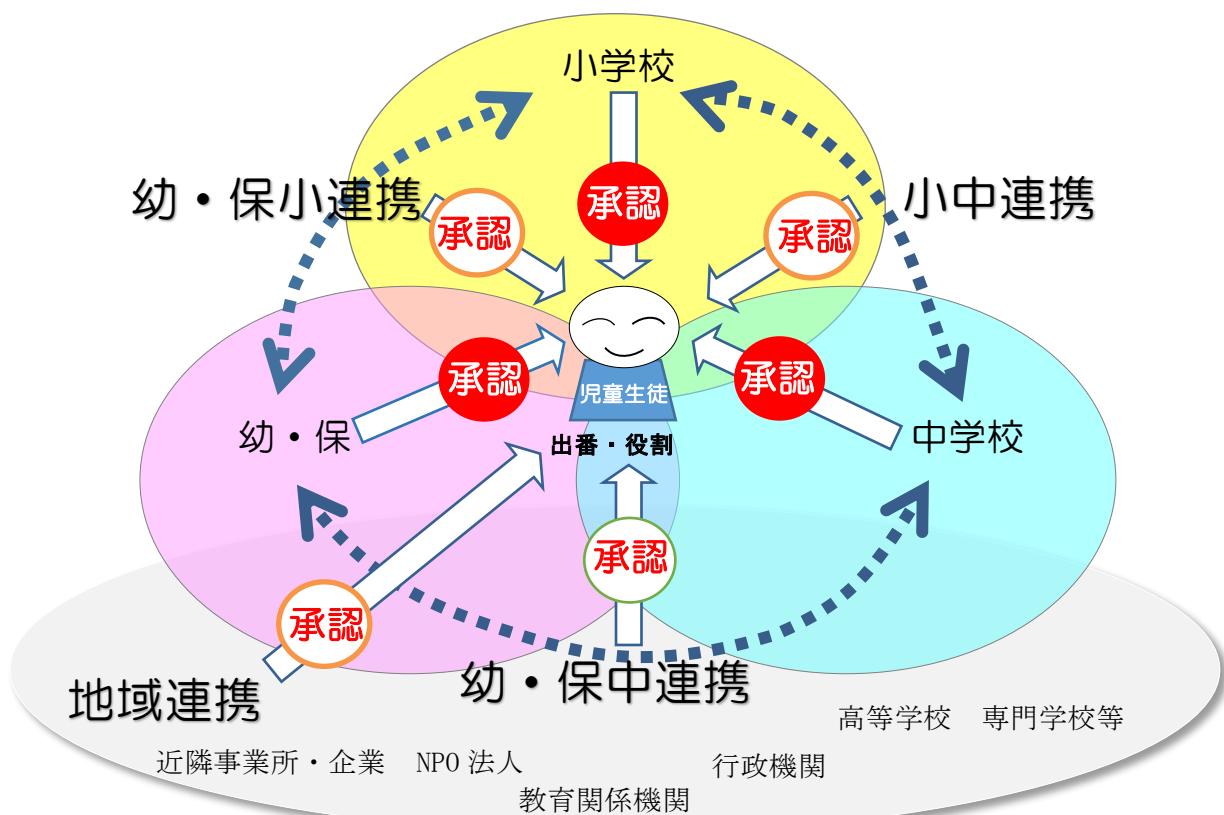
②開発的生徒指導で地域連携をデザインする

[出番・役割・承認]の場面設定を、小中連携、幼保中連携、地域連携に求めると開発的生徒指導はさらに有効な手段なります。

例えば、中学校ではキャリア教育の一環として職場体験学習が総合的な学習の時間の中に設定されています。勤労の意義やかかわった職業人から職業観を感じ取ったり、学んだりする中で自己の進路実現を図るという学習活動です。

学校は事前に受け入れ事業所・企業と打ち合わせを行うことが通常ですが、ここで両者（学校側と受け入れ事業所側）が体験学習の活動内容に関する情報交換や打合せのみで終わらないようにします。学校からは、本人の自覚ましい活躍の姿や実績などを告げておき、何かの折に話題にしてもらうことをお願いする、受け入れ先からは、態度や振る舞いの良さを褒めてもらう場面があれば、そのことを連絡して共通理解をすることで承認場面の確認と設定を行うのです。これが意図的に生徒を育てる開発的生徒指導の地域連携における仕組みです。

[開発的生徒指導による地域連携デザイン～承認場面を構築する地域連携～]



このような地域連携のサイクルが開発的生徒指導であることを理解し、そのサイクルが軌道に乗れば、地域教育力の高まりが期待できます。

画像13は、生徒会役員が民生委員会で発表をしている様子です。この時の生徒会活動は東日本大震災復興支援のためにアルミ缶を回収するという活動に取り組んでいました。生徒会活動あるあるですが、開発的生徒指導の手立てを仕組むと次のようになります。



【画像13】

鏡地区（唐津市）の民生委員会で学校の活動を発表する生徒会【鏡中H25年度】

事前に民生委員会には、生徒会活動について担当の先生が話をしておきます。加えて開発的生徒指導についての説明もしておきます。

「生徒会活動については、地域へのご協力が欠かせない取組をしておりますので、ぜひ地域にはアルミ缶回収のお声かけをお願いします。また、民生委員会にお願いに来る生徒会の活動そのものを褒めていただき、機会があれば地域でお話いただくことが生徒の成長に繋がりますので、よろしくお願ひいたします。」

このように意図的に生徒の出番、役割、承認場面を仕組むことが大切です。さらに地域団体を巻き込んだ地域ぐるみの構想はコミュニティ・スクール構築の原型ともなります。

③ 開発的生徒指導で授業をデザインする

① 「教科指導＝生徒指導」という意味

「教科指導＝生徒指導」は周知の通りで、授業場面では教材研究とともに、生徒指導3機能（・自己存在感、自己有用感を与える・共感的人間関係を育成する・自己決定の場を与える：文科省生徒指導提要 平成22年4月2日）を取り入れるかが授業づくりのポイントと言われています。

右図のラーニング・ピラミッドでは、「学んだことを人に教える」が学力の定着に最大効果を發揮すると示されています。逆に定着率が一番低いのは「講義」や「読む」こと、つまり受動的な学習方法です。

授業において「学んだ事を人に教える」ためには自分自身がその事を理解していなければなりません。無論、このことは全ての生徒に保障されることが前提となります。全ての生徒が、一回で聞いたことを理解できればよいのでしょうか、何回も何回も聞いたり、繰り返し同じ質問をしたりしないと理解できない生徒もいます。

一斉講義型授業は先生の説明を聞いたり、指示された箇所を読んでみたり、先生が実演するだけで生徒は見るだけの授業であれば受動的な授業形態となります。生徒の中には聞き逃したり、分からなかった事も質問せずに授業が流れてしまったりすることがあります。

能動的な授業ではグループで討議したり、体験学習を行ったり、学んだことを人に教えるという学習活動が行われます。能動的な授業は生徒主体となるため、生徒はインプット・アウトプットを繰り

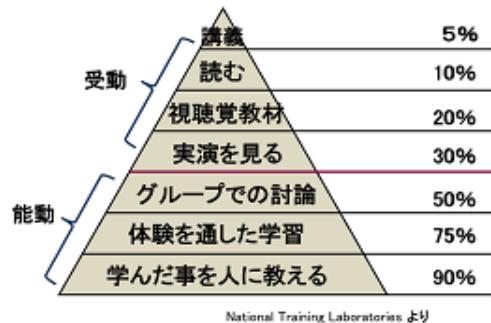
返し行うことができます。しかも生徒間でのインプット・アウトプットとなるための生徒指導の3機能は、より効果的に発生すると言えます。無論、生徒間による生徒指導の3機能の仕組みに先生がかかわれば、さらなる効果が期待できます。その効果とは、生徒間のかかわりです。普段は特に仲が良いわけでもない級友とのかかわりができます。もしかしたら、普段は全く話をしない級友かもしれません。そのような関係の薄い級友とも授業を通してかかわる場面が増えます。そのかかわりの中では、教えてもらうことへの喜び、教えることへの喜び、何度も尋ねて分かるようになった時の喜び、何度も説明をして分かってくれたことへの喜び、級友とのかかわりが深まることで家庭学習をしなければと思えるようになった喜びなどが芽生えます。つまり、これまであまり知らなかった級友の一面を知ることで他者理解が深まりますので、能動的な授業を実践することにより教科指導は生徒指導とも言えるのです。

② 生徒の心の揺れ

思春期真っ只中の中学生の時期は様々な場面で心の葛藤があります。将来のこと、仲間のこと、学力のこと、家族のことなどなどその思いは様々であり、そのことがもとで不安や悩み（以下：「心の揺れ」）を持つことがあります。授業中に生徒の集中力を感じられなかったり、元気がなさそうに見えた時、およそ心の揺れがある時と考えてもよいでしょう。無論、心の揺れを抑えて学習に取り組むことができる生徒もいますが、そうでない生徒もいます。

では、心の揺れがあるから「授業は聞いていられない。」「授業に集中できない。」ではすまされません。どんなに先生が「ほら、〇〇さん、聞いていますか。」と声かけをしても、

[画像 14]
ラーニングピラミッドで見る平均定着率



National Training Laboratories より

- * さっきの授業が分からなかった
- * 友達との仲が悪くなった
- * 先生と相性が合わない
- * 外の景色が気になる
- * 隣の人が気になる
- * 進路が気になる
- * 眠くなる
- * * * * 他

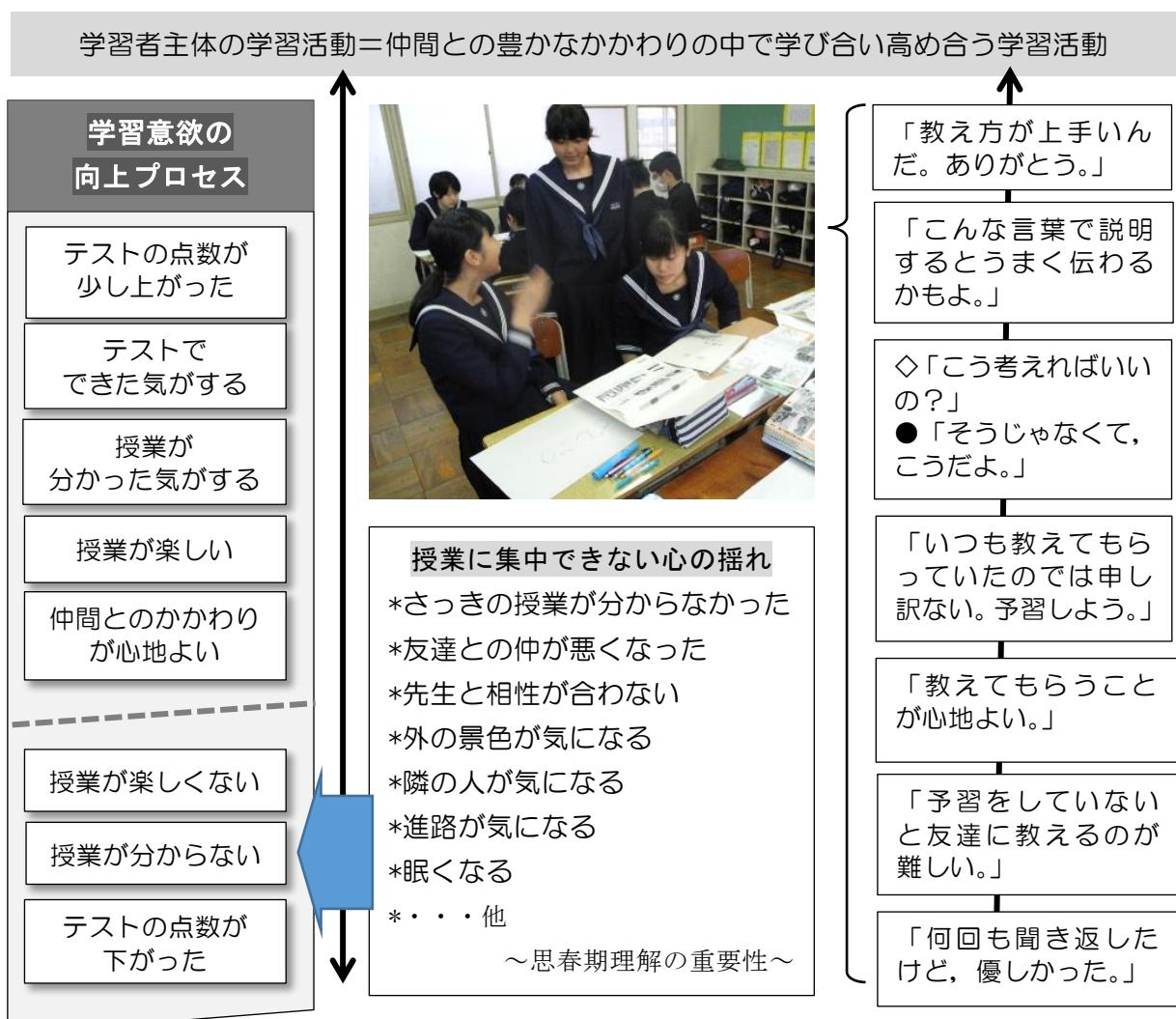
瞬時に切り替えることは難しいでしょう。そうなると、生徒の心の揺れにも勝る授業作りをすることと生徒理解が重要となります。

また学力の低い生徒は「授業が分からぬ。」という心が揺れが多いといつても良いでしょ。

一斉講義型授業は、学力が低い生徒にとってその授業内容の大半を理解できていません。

授業では先生の話を聞いてノートをとっていれば先生は理解していると判断します。数名の生徒の間違っていない発表があれば全員ができたものと判断してしまったり、先生の「質問はないですか。」の声かけに何も反応がなければ次に進んでしまったりして、結局分からぬところはわからないでその授業は終わってしまいます。「その場で質問をしなさい。」と言ってもそうたやすく質問できるものではありません。わからないところがわからないでいることもあります。「昼休みや放課後に聞きにきなさい。」と言ってもそれはそれで生徒も先生も忙しいものでなかなかできるものではありません。つまり、勉強が分からずに常に心が揺れている状態と言えます。

[開発的生徒指導による授業デザイン ~個と個をつなげる連携~]

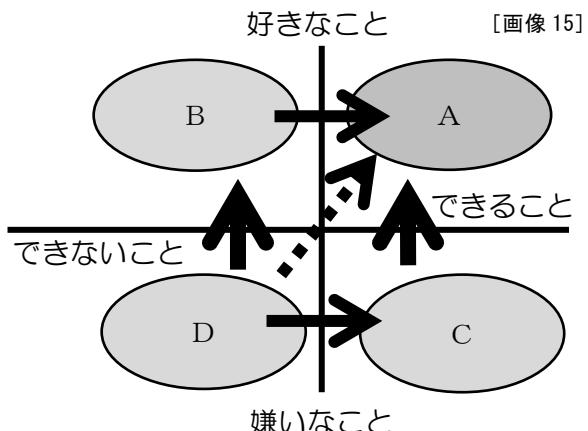


授業場面における生徒理解とは、開発的生徒指導による授業デザインの左に示されている学習意欲の向上プロセスです。一斉授業では、生徒指導の3機能を生かしたり、個別に注意したりして授業者は生徒の興味、関心を高めようと授業を仕組みます。しかし、クラス全員の興味、関心をある一定レベルまで上げることはとても困難なことです。しかも、生徒は一人一人、個性があります。Aという教材でDさんには響きますが、Fさんに必ず響くとは限りません。さらに授業では、先生の些細な声かけや指示、指導が先生の意図したことと逆行して、注意されたと思い違いしたりします。そのことが基で、他の生徒が不安を感じたり、批判の対象となったりすることがあります。

主体的な学習活動を仕組めば、仲間との会話量が増えたり、仲間の良さに気付いたりして心の揺れを減少させることができます。つまり、仲間との豊かなかかわりの中で育まれる学び合いや高め合いが学習意欲の向上プロセスを徐々に高める手立てとなります。このような考え方を基に、アクティブ・ラーニングの有用性を価値付けしました。

④ 開発的生徒指導をマズローに求める

開発的生徒指導は、端的に言えば生徒一人一人が次のような気持ちになるきっかけを作ることです。全ての生徒はきっと、下のように思っています。しかしできない自分がいたり、周囲の目を気にしてみたり、本当の気持ちを伝えることができなかったりするので、時期を逸してしまいます。



① [D→C]

「できないし嫌いなことだけど、できるようになりたい。」

② [D→B]

「できないし嫌いなことだけど、好きになりたい。」

③ [C→A]

「できるけど今はあまり好きじゃない。でも好きになればいいな。」

④ [B→A]

「今は好きだけどできない、できるようになるといいな。」

開発的生徒指導をマズローが示す5段階欲求に当てはめるならば、3段階の社会的欲求と4段階の尊厳の欲求に位置すると考えられます。



Ⅱ すぐできる！開発的生徒指導

1 まずは「決意発表」&「振り返り発表」

決意発表は始業式に行います。振り返り発表は終業式に行います。全校生徒が揃っている時が好ましいので、1学期の決意発表は、入学式の後の全校朝会に設定します。3学期の振り返り発表は、3年生修了式より前が良いでしょう。

発表する内容は、自分自身を振り返っての反省や次学期の抱負を語ります。

決意発表、振り返り発表のねらいは、生徒の〔出番・役割・承認〕を設定することですが、発表する生徒を通して、学校や社会はどのような行動や思いが大切なかを伝えることになります。

始業式（または終業式）式次第

1. 開式（教頭先生）
2. 決意発表（または振り返り発表）
1年生代表〇〇 〇〇
2年生代表〇〇 〇〇
3年生代表〇〇 〇〇
3. 校長先生の話
4. 校歌齊唱
5. 閉式（教頭先生）

※式終了後に諸注意、連絡

※表彰関係は式の前に行います

(1) 出番 - 役割 - 承認の生徒の「出番」

ア. 各学年からの代表の生徒が出番となります。

イ. 発表生徒を増やしたい！

学級数が多いなどの理由で生徒の出番を多くしたいという願いがある場合は、学年代表の数を増やしても構いません。その分の時間が必要となります。

ウ. 選び方

選出は、学年部会で担任の先生の思いを尊重しながら選出されて良いでしょう。

先生は、代表の生徒だからと言って、いわゆる



涙をこらえながらも笑顔で発表する3年生女子生徒【鏡中 H28年度1学期終業式振り返り発表】

良い子を出そうとしますが、それでは開発的生徒指導の意味がありません。開発的生徒指導は、「その子の良さを引き出し、その良さを伸ばすこと」です。多少、問題行動があっても構わないと考えてみましょう。また、発表内容がごくごく普通の事であろうと、代表生徒がなんら他の生徒とあまりかわらぬ生徒であっても、その子にとって、できなかったことができるようになったことや、自分自身が大きく変わったきっかけになったことであれば、それを認めてあげれば良いだけの話です。

特別支援学級の生徒が、この場に臨み全校で「よかったです。そんなに頑張ったんだ。」と承認できる学校になれば申し分ありません。

〔2〕出番 - 役割 - 承認の生徒の「役割」

ア. 発表する内容

これまでの自分を振り返りながら、学習面、生活面、または部活動などを通した反省や抱負を語ります。原稿を手に持って読んでも良いですが、暗記しておくとなお良いでしょう。

イ. 礼法指導

できるだけ、礼の仕方や声量は事前に指導しておけば、褒める場面も多くなります。

〔3〕出番 - 役割 - 承認の生徒の「承認」

ア. 代表生徒を丁重に扱う

ステージ上に椅子を準備し、あらかじめ発表者全員をステージに待機させておきます。発表後もこの席に戻ります。

担任が呼名し、発表者は演題に向かいます。演題に着いたら、「2年生は〇〇 〇〇さんです。それではお願ひします。」とていねいに紹介します。

イ. 発表する順番

下級生から発表させる。

ウ. 担任の先生の承認

生徒の発表後に、ステージ上の演題の前に立たせたままで、担任の先生はその生徒の紹介をします。担任の先生からの承認の言葉は、発表した生徒の良さに限ります。



〔画像 18〕

発表する生徒はステージで座らせて目立たせる！【鏡中 H28 年度 1 学期終業式】

「あんなことをした、こんなことをした。周囲からはこんな評判を得ている。」「職員室の先生たちもこんな風に褒めていた。」と事実だけを紹介します。失敗したことやその生徒に対する先生の個人的な期待は伝えません。

「〇〇さんは、2学期の学級総務役員に立候補しました。うまく票が集まらず副総務になりましたが…」という話をした先生がいましたが、「うまく票が集まらず」という前段の話は必要ありません。「立候補するほどやる気があるって」という褒め言葉なのでしょうが、「学級では一番信頼されているわけではない。」と裏聞きできます。言葉を飾らず、「2学期は副総務として…」と話したほうがすっきり聞くことができます。



担任の先生による承認の言葉【鏡中 H28 年度 1 学期終業式】

④ 決意発表、振り返り発表の発展

① 素直に成長する生徒

平成 22 年、東与賀中での出来事でした。この取り組みが学校に定着しつつある頃でした。自分も発表したいと願っていた女子生徒が 3 学期決意発表に指名されました。

3 学期決意発表は、冬休みをまたいだ始業式に行いますので、2 学期終業式で指名しなければいけません。指名されたことを喜び、職員室に来た女子生徒は、「先生方、決意発表に指名していただきありがとうございました。頑張ります。」と満面の笑みで言いました。

職員室からは、「よかったね。でも冬休み中、原稿考えて受験勉強できなかったとか言わせないよ。」との声かけがありました。とても印象的です。それほど嬉しいことだったのです。

女子生徒は、暮れの歌番組を見ながら母親に文章の校正をしてもらい、明けた正月には家族の前でリハーサルをしたそうです。



決意発表、振り返り発表も熱が入ると、原稿の校正をしたり、事前にリハーサルをしたりします。ちなみに指導する先生は担任とは限りません。管理職の先生でも構いません。「みんなでやる！」です。【金泉中 H16 年度 2 学期終業式】

② 文章の校正指導

決意発表、振り返り発表も熱が入ると文章の校正が行われるようになります。つまり担任の先生の負担が増えるわけです。

しかし、原稿は代表生徒が作成していますので、文章の校正は何も担任の先生が行うとは限りません。画像は、教務主任が仕事をする傍ら代表生徒が原稿を読んでいる場面です。副担任の先生でも構いませんし、教頭先生でも構わないでしょう。ただし、求めすぎないようにします。

本人の思いや伝えたいことが変わってくる可能性がありますし、何よりも本人の言葉を大切にしたほうが良いからです。



管理職の先生に指導を受ける代表【金泉中 H16 年度 2 学期終業式】

③ 7人1組で振り返り発表

第3学年主任が、どうしてもこの生徒たちに発表させたいとの願いがありました。冬休みに熊本地震のボランティアに参加した生徒たちでした。

発表内容は、被災地の現実を見て心に残ったこと、がれき撤去がどれほど大変だったかということ、被災地の方々に涙ながらに感謝されたことでした。一人あたり、わずか 80 文字にも満たない文章でしたが、7 名の生徒が思い思いに語ると、それは重く深く伝わります。



7名1組で振り返り発表【鏡中 H28 年度 2 学期終業式】

③ 所見の例

公民館主催の被災地ボランティアに参加しました。振り返り発表会では、現地で目にした悲惨な光景、被災者の過酷な生活の現実、がれき撤去の大変さなど、素直に感じた思いを言葉にして切々と全校生徒の前で伝えました。時折言葉に詰まる姿が印象的でした。

2 学年集会

学年集会の目的は、学校や学年の今ある課題を解決する、または改善するためです。その内容は予防的に取り扱う場合もあれば、対処的に取り扱う場合もあります。

学年集会の有効性は、学年全体で共通理解した上で、学級取り扱いができるところにあります。学校・学年課題を学年部会（学年の先生たちの会議）で確認しても各学級での取り扱いに任せておくと、学級に温度差が生じることがあります。「A組はよく分かっているが、B組は今ひとつ分かっていない。」では困るからです。

さて、学年集会を生徒主体で行う場合は取り扱う内容（課題）によります。指導が発生する内容は先生が行う、啓発や呼びかけは生徒が行うというすみわけをしておくことが大切です。生徒指導上の課題を取り扱う場合でも、生徒による実行委員会からは学年の生徒の声（アンケートや取材など）を伝えたり、世間一般ではどのように考えられているかをちりばめた資料を紹介したり、具体的な課題に対する指導は先生が行います。

学年集会 会順

1. 開会
2. 学年主任の先生の話
3. 生活指導の先生の話
4. 学習担当の先生の話
5. 先生からの諸連絡
6. 閉会

(1) 出番 - 役割 - 承認の生徒の「出番」

「全校生徒の前ではちょっと荷が重すぎる。」や「ほんのちょっとの出番から始めたい。」という生徒にとっては、臨みやすい出番が設定できます。

先生主体の学年集会であれば、先生司会、学年主任の先生の話、学年生活指導の先生の話、学習担当の先生の話、諸連絡の会順で進めるのが一般的ですが、開発的生徒指導の視点を取り入れ、生徒主体の活動にすると学年全体で生徒の良さを引き出し、良さを伸ばす取り組みが可能となります。

① 定例実施とする

月1回の開催とします。生徒が、出番、役割を認識し、見通しを持って主体的に活動することが目的となりますので定例化したほうが良いでしょう。

もちろん回数は増やしても構いません。また、行事の前後に臨時開催することも効果的です。取り扱う時間帯は、朝の時間、または学年学活（特別活動）、総合的な学習の時間の学年発表として位置づけることもできます。

② 実行委員会形式とする

担当学級で「学年集会実行委員会」を組織します。組織員は希望制でも学級の係（生徒会専門部）でも良いでしょう。大切なことは、先生がどの生徒をどの場面で伸ばしたいかということです。「翌月の学年集会の当番はうちのクラスだから、考えといて～。」と生徒への投げっぱなし、やりっぱなしでは開発的生徒指導の意味がありません。ていねいに先生がかかわることが大切です。

③ 生徒の出番は自由に増やすことができる

「学年集会実行委員会」の係員はそれぞれ1名とは限りません。取り扱う内容や先生たちの願いしだいで複数名配置にすることもできます。例えば、司会進行係を2人で行っても良いでしょう。学習担当係は発表内容を分割して発表しても構いません。

また、係は自由に新設すると生徒の出番は増えます。

右表「学年集会実行委員会⑤」の事前交渉係の出番は、担当の先生に話をしてもらうための依頼をする係です。学年部会（学年の先生の会議）では先生たちで役割分担をしますが、あえて生徒がお願ひに行きます。普段は親しげに話している生徒と先生ですが、この時ばかりは丁寧な対応をしたり、お伺いを立てたりすることを学びます。社会性を身に付ける場の設定ができるわけです。話を依頼する先生は、何も学年の先生とは限りません。教頭先生や校長先生にお願いしても良いでしょう。

また、修学旅行の事前研修として、プレゼンテーションソフトを活用するのであれば、プレゼン作成係、ソフト操作係、指し棒係、発表係などを出番とすることができます。夏休み前の学年集会では、生活面の予防的生徒指導が行われます。生活担当係が夏休みの生活のしおりを基に、生徒の前で発表することもできるでしょう。

学年集会実行委員会

- ① 学年集会実行委員長
- ② 司会進行係
- ③ 生活担当係
- ④ 学習担当係
- ⑤ 事前交渉係
(先生にお願いする係)
- ⑥ 開閉会宣言係

その他



【画像 22】

実行委員が最多 11 名となる【鏡中 H28 年度 2 年生】

(2) 出番 - 役割 - 承認の生徒の「役割」

① 学校課題、学年課題を取り扱う

「今の学年の課題をどうしたらみんながよくなるかを伝えるんだよ。」と伝えます。

単に「ああしなさい。こうしなさい。」と指示するだけではありません。先生主導で行うのと何の変わりもないでしょう。ただ、生徒が代弁しているだけです。

生徒の主体性や独自性を培い、生徒の良さを伸ばすことが目的ですので、生徒に考えさせなければなりません。しかし、生徒とて、夢や希望、見通しを持って取り組んでも、使命感がないと会のクオリティも高まりません。ひいては生徒の良さを伸ばす開発的生徒指導とは程遠いものになります。

実行委員には、学年集会の価値を次のような言葉を使ってていねいにレクチャーします。

- * 「先生たちが伝えることも大切だけど、あなたたちが伝えるともっと効果的があるんですよ。」
- * 「学校はあなたたちが作るものなんですよ。みんなの力でもっとよくなそうと思えば必ずよくなりますよ。」
- * 「できていないことに目を向けることも大切ですが、できている人を褒めて、できている人の渇をつくるのです。できている人が増えていくとできていない人もできるようになるから。」



[画像 23]

実行委員の自己紹介の様子【鏡中 H28 年度 2 年生】

② 新旧実行委員会の引継ぎを行う

会は場所、時間、参加者をていねいに仕組むことが大切です。「話し合っておきなさい。」ではありません。先生の立会いのもと、会議形式で行います。司会者を立て、取り組んだクラスからの反省を述べます。その時に次回担当学級が、企画案を持って会に臨んだほうが良いでしょう。次回担当学級は企画案を紹介し、前学級は経験を基にアドバイスをするように指導しておきます。



[画像 24]

昼休みに行われた実行委員会引継ぎ会の様子【金泉中 H17 年度】

初回から立派な学年集会をしようと思わないことです。学年集会を生徒主体で行うことの良さを伝えておき、あとは「(仮名) 学年集会チェックノート」に「ああすればよかった。こうすればよかった。」を生徒が記録しておき、初めて実行委員会を組織する学級は、経験済みの学級からレクチャーを受けるようにします。先生たちはその会を見守るだけです。付け加えたいことがあれば、横から口を挟むだけです。

(3)出番 - 役割 - 承認の生徒の「承認」

承認場面は、学年の生徒全員からの承認となります。

承認場面を学校全体や地域、家庭に広げるためには、学年通信や学校通信、学校HPで取り上げます。これにより、開発的生徒指導による地域教育文化の醸成を図ることもできます。

司会進行係

「おはようございます。6月の学年集会の担当クラスは3組です。司会を努めさせていただきます〇〇〇〇です。よろしくお願ひいたします。それでは開会のあいさつを〇〇〇〇が行います。」

開閉会宣言係

「おはようございます。修学旅行のまとめも終盤となりましたが、各クラスとも学年発表会の準備は進んでいますでしょうか。ただ今から、6月の学年集会を始めます。」

司会進行係

「まず始めに〇〇〇〇学年集会実行委員長があいさつをします。」

学年集会実行委員長

「おはようございます。今回の学年集会は、生活面、学習面に関する話を学年の担当の先生にお願いしております。最後にクラスからの発表として、昨年行われた総合的な学習の時間のプレゼンテーション全国審査で第一位となったプレゼンを紹介したいと思います。修学旅行プレゼンの制作に参考になればと思い、担当グループがご紹介しますので、よろしくお願ひいたします。以上であいさつを終わります。」

司会進行係

「続いて、生活面についてです。生活面担当係の〇〇〇〇が紹介いたします。」

生活面担当

「生活面担当の〇〇〇〇です。今回は6月の過ごし方について〇〇〇〇先生にご指導をお願いしております。それでは、〇〇〇〇先生、よろしくお願ひいたします。」

司会進行係

「続いて、学習面についてです。学習面担当係の〇〇〇〇が紹介いたします。」

学習面担当

「学習面担当の〇〇〇〇です。今回は期末テスト前の家庭学習について〇〇〇〇先生にご指導をお願いしております。それでは、〇〇〇〇先生、よろしくお願ひいたします。」

学級発表係

「学級発表係の〇〇〇〇と〇〇〇〇です。今日は、・・・」

司会進行係

「7月の学年集会は1組が担当します。よろしくお願ひいたします。以上をもちまして、6月の学年集会を終わります。ありがとうございました。」

2 生徒の善行を紹介する「良さボード」

(1) 先生たちの確認のため始めたこと

K中学校で、開発的生徒指導の視点で始めて取り組んだことが「生徒の善行紹介」でした。K中学校（平成16年度～）では、「生徒の良さボード」という名称でした。平成27年度、唐津第一中学校では「一中善行百選」との名称で実践されています。

平成16年、K中学校では、生徒の良さとはどのようなことを言うのか、という議論が生徒指導協議会でなされました。その結果、「これは、生徒の良さ！」と先生が感じたことを忘れないうちにホワイトボードに付箋紙に書いたものを貼ろう。となりました。

貼り付けられた付箋紙を見ると、落ちていたごみを拾ったことから、予防的に注意したら素直な態度で指導を聞き入れたことまで貼り出されていました。そこで、付箋紙の色でその内容が分かるようにしました。

生徒の良さについてはピンク色付箋紙、予防的生徒指導に関する事であれば黄色付箋紙、生徒個別のことではなく、複数や全体に関する事であれば水色付箋紙としました。

このホワイトボードは職員室に置かれていました。生徒の目にもふれますか、基本的に目にふれてはいけない内容は記載していなかったため、生徒指導上の危機管理は考えていました。

(2) 付箋紙の内容が校内でうわさになる

用事があって職員室に来る生徒が見ないわけありません。付箋紙に書かれた内容は、実践してからまもなく学校中に広がりました。

中には、付箋紙に書かれた内容でみんなが認めてくれたことに喜び、「書いていただいてありがとうございました。」と、職員室まで言



【画像 25】
生徒の良さボード【金泉中 H16 年度】開発的生徒指導の始めの一歩として始められた。

- *「〇〇君のことが書かれていたよ。」
- *「先生、そのとき何も言わなかったけど嬉しがっていたみたい。」
- *「べた褒めされていたよ。この前の大掃除のこと。」

いに来る生徒もいました。

ちなみに、付箋紙は毎日5枚などとノルマをしいっていましたので、すかさずそのことを付箋紙に書いた先生もいました。「〇〇先生、私のところにあの生徒は來たので、その付箋紙はするいでしょう。私に貼る権利のある付箋紙ですよ。(笑)」と、職員室も和みます。

③ どうなる？出番 - 役割 - 承認

出番は善行を行った生徒です。学校行事等の出番ですでに承認されている生徒も、ここに貼られるとその時点で再度承認となります。

役割については例えにくいので、先生が役割を担っていると考えれば良いかと思います。

承認は、付箋紙に貼り出されること自体が承認であり、写真のようにそれを見て教室でおしゃべりする生徒によってさらに承認場面は広がります。

先生が良いことをすると生徒も良いことをします。



定期的に見に来る生徒。この生徒たちが開発的生徒指導の実践をひとつ作った。【金泉中 H17年度】
[画像 26]

III 学校行事に仕組む！開発的生徒指導

1 | 入学式

入学式は卒業証書授与式と同じく儀式的行事です。古くから儀式的行事は莊厳に挙行することを重きにおいている中学校は多くあります。入学式会場となる体育館の前面壁面に掲示するための広用紙に書かれた式次第も淨書担当の先生が筆を持たれます。

しかし、鏡中では入学式に開発的生徒指導を取り入れて、司会進行は教務主任の先生ではなく生徒が行います。式次第も生徒が書きます。また、新入生と保護者の受付も生徒が行います。受付を終えた新入生を新しい学級に誘導する役割も生徒が行います。また、受付を終えた保護者を会場となる体育館に誘導する役割も生徒が行います。さらに来賓の皆様を来賓控え室から会場まで誘導する役割も生徒が行います。



入学式当日の受付の様子【鏡中 H29 年度】

(1) 新入学生の保護者席からも承認の空気感

入学式の生徒司会については、入学式の運営担当である教務主任の先生が、保護者に対して事前に説明をしておきます。その時に、司会進行を行う生徒、浄書を担当した生徒を前に立たせ、紹介することが担当生徒に対する承認となります。同時に2名の生徒には一言コメントをさせます。

司会進行担当の生徒は「司会を努めさせていただく〇〇と申します。このたびはお子様のご入学おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。司会につきましては、何分不慣れで失礼があるかもしれません、心を込めて一生懸命行いたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。」と笑顔で元気よく言います。

净書担当の生徒は「前に掲示しています式次第を書かせていただきました。お祝いの気持



浄書担当と司会進行の生徒【鏡中 H29年度】

ちを込めて筆を取りました。また書かせていただいたことに感謝申し上げます。」と言います。

2人の生徒が新入生の保護者の前で思いを伝えることで会場の空気は柔らかくなります。その空気感が2名の生徒への承認となります。

さて、司会進行はアナウンスに気をつけます。来賓の祝辞では、教務主任等が司会進行を行う場合、「PTA会長の祝辞」との発声でPTA会長は席を立ちステージに上がりますが、生徒司会ですので少していねいにアナウンスします。「PTA会長の祝辞。OOPTA会長様、よろしくお願ひいたします。」の感じです。祝電披露も先生司会では「祝電披露」のみの発声ですが、生徒司会ですので「祝電を披露させていただきます。」と少していねいに発声します。



[画像 27]

入学式で司会進行をする生徒【鏡中 H29 年度】

② 来賓控え室では、校長が紹介しておく

生徒による司会進行は来賓にとっては珍しいことかもしれません。また、開発的生徒指導は承認を大切にしなければなりません。そこで、生徒による司会したこと、その理由、さらには承認をしていただきたいということを伝えます。承認については、直接褒めること、または民生委員会や地域の協議会等の場で広く紹介していただきたいと具体的に伝えます。

1 修学旅行私服検討委員会

佐賀市立金泉中学校は3年時の5月に修学旅行を実施します。行き先は沖縄でした。平成17年度の3年生は「学校の荒れ」を若干引きずりながらも授業は成立し、とりわけ問題行動は起こっていませんでした。それでも、保健室への来室者も少なくはなく身だしなみで配慮を要する生徒は78名中10名以上いました。

開発的生徒指導も2年目となり、生徒への仕掛け方も見通しを持って行うことができるという自信が先生たちにも付き始めていたころです。

修学旅行を実行委員会形式で進める学校は多いものです。佐賀市立金泉中学校でも修学旅行実行委員会が2年時3学期に立ち上げられました。

修学旅行実行委員長、副委員長、しおり作成委員、研修ノート作成委員がその組織員でした。活動時間は授業や部活動の時間を奪うのはよくないことなので、始業前、囁休みに限定して活動をしました。

① 「ちょっと、いじってみるか！この子たち」

「この学年の生徒を開発的生徒指導で育った1年生にしたい。」という願いが学年の先生たちにありました。そこで仕掛けました。

S先生…「沖縄って世界有数のスーパーリゾートでしょ。ホテルもシティホテルではなくリゾートホテルだよ。なのに、制服に体操服？それでいいの？一生に一度の修学旅行なのに。」

B子…「ん？先生なんば言いよっと？」

S先生…「いや、そういうことよ。」

B子…「マジでよかと。私服で飛行機乗ってよかってことやろ。」

S先生…「よかては言っとらんよ。さびしいなあって言っただけ。」

B子…「どがんすっぎよかと。」

仕掛けは整いました。後はB子が友達にその話をし、数人でS先生のところまで来るだけです。

時はすぐに訪れました。B子と仲良し4人が職員室に来ました。どうすれば良いかの相談です。アドバイスは、「どこで私服を着用するのか。」と「全員が納得し理解しないといけないということ。」です。あとは、修学旅行私服検討委員会を立ち上げるのを待つのみです。



沖縄修学旅行イメージ【金泉中 H17 年度】

数日して、修学旅行私服検討委員会を立ち上げたいと願い出てきました。当然、「OK！」です。

② 実行委員会に参加することをかっこ悪いと思っていた子ども達の出番と役割

修学旅行私服検討委員会は5名の女子生徒で立ち上げられ、そこには何の役割の設定もありませんでした。その後、彼女たちは検討内容が記された、いかにもノートを手で破ったと

思われる紙を持ってきました。

昼休み、会議室では昼食持ち込みで委員会を開催しました。

話し合いを深めると、彼女たちもいろいろな役割を考えることができます。

どんな私服で行きたいのか、制服でなければいけないところはどこなのか、ホテルには他に宿泊客がいるのか、全員が納得するための方法は何か、などでした。

*私服でも良い場所の検討

2泊3日全行程、行きかえりの飛行機、ホテル内、体験活動時、那覇国際通りの自由時間、平和集会

*私服の許される範囲

ジーンズ、ノースリーブ、ダボ、ダメージ、チューブ、露出系などの協議が必要

*全員が納得し、理解するための方法

② 承認の場となった「ふさわしい？ふさわしくない？どっちでファッションショー」

修学旅行私服検討委員会も仲良し5人組では学年から委員会として認めてもらえないと思い、学級から男女2名ずつを募集しました。その後は、S先生が担当となり、毎日昼休みに委員会を開催しました。

5月のゴールデンウィークが過ぎ、次の週はいよいよ修学旅行という金曜日、とうとう開催されました。「ふさわしい？ふさわしくない？どっちでファッションショー」です。スクリーンには旅行行程とイメージ画像が映し出され、BGMが低く流れる中で派手な私服からごく普通の私服のファッションショーが行われました。その中には、制服と体操服もありました。3年生は全員参加です。服装の名称ごと、行程ごとに「Yes, No」欄が設けられており、生徒はそこに○をつける仕組みのアンケート用紙でした。

集計結果は、ホテル内だけ私服可が圧倒的でした。体験学習時は体操服、それ以外は制服という結果でした。意見は分かれましたが、生徒全員が修学旅行私服検討委員会の活動を認め、相反する意見があっても、折り合いをつけて全体の総意とすることを学んだ活動だったと言えます。

③ さて、現地では？

修学旅行は旅行的行事であり、遊びではなく学習の場であることをファッションショーという手段で示した修学旅行私服検討委員会の生徒たちでしたが、ホテルでは地味なTシャツかポロシャツにキュロット姿でした。そして多くの生徒は体操服でした。

修学旅行私服検討委員会の生徒たちは、明らかに開発的生徒指導により、その良さを伸ばしました。気づくことの大切を知り、解決するためにはどうすれば良いのかを考える力を身に付けました。そして、全員が納得し理解するなかで修学旅行を全員が楽しく終えたのは私たちの修学旅行私服検討委員会が活動したからだと思っているからです。

成人した彼女たちは今でもそのことを口にします。

「先生、ちゃんと書いてくれたとやろうね。私服検討委員会のこと、入試のときの調査書にさ！」とも言いました。

2 開発的生徒指導で高校説明会を仕組む

高校説明会とは、近隣の高等学校から進学担当（生徒募集）の先生（主に校長、教務主任、進路指導主事等）を講師として招いて、各高等学校の学校紹介をする取り組みのことです。主に中学校3年生を対象としますが、1年生、2年生が参加することもあります。

多くの中学校は、自校から進学実績のある県立高等学校、または私立高等学校が高校説明会での講師を依頼する対象高校となります。福岡県に隣接している地区の中学校などは、福岡県の私立高等学校に依頼することがあります。

依頼の対象となる高校は普通科を設置している進学校、工業系、商業系、または総合学科などを設置している専門科目の高校です。日程は、国公立と私立に分け、課業日の午前中か午後の2時間を利用する場合が多いです。

よくある高校説明会とは、体育館やホール等で3年生全員を対象とした説明会です。進学校、専門学科のある高校、男子高も女子高の説明もすべて聞くという説明会です。つまり、進学校を志望している生徒も専



【画像 28】

一斉講義型の高校説明会

門学科のある高校の話を聞きます。専門学科のある高校を志望している生徒が進学校の話を聞かなければならぬ場合もあります。たまに、女子高の説明を男子生徒も聞かなければならぬ進学説明会もあるようです。なぜ、そんな進学説明会をするのかを問うと「進路学習だからです。」との回答が返ってきます。体育館の床に腰を下ろして、男子は体育座り、女子は安座の姿勢で一生懸命メモをしている姿に、「腰や背中も痛むだろう。」や「男子校の説明を女子が聞いても興味わかないだろう。」と心で声かけしながら、最後は「よくぞ2時間も我慢した。」と褒めていました。

(1) 聞きたい高校の説明を聞く

期日は、県立高校、私立高校それぞれ別日としました。当日の日程は、前半 20 分と後半 20 分とし、高校の先生には説明を2回していただくことにしました。内容は2回とも同じものです。

生徒は異なる高校の説明を聞くことができます。つまり、第1志望と第2志望の高校の説明を聞くことができるわけです。進学先を決めていない生徒は、普通科系の高校と工業系の高校、商業系の高校と工業系の高校を組み合わせることができます。普通科系の高校選択で悩んでいる生徒は、普通科系の高校を2校選択することもできます。

私立高校説明会		3年1組会場	3年2組会場	3年3組会場	図書室会場	会議室会場
第1 ターム	13:40～ 14:00	F高校 (特進系)	G高校 (商業系)	H高校 (スポーツ系)	I高校 (女子高)	J高校 (男子高)
移動・準備 (15分)						
第2 ターム	14:15～ 14:35	F高校 (特進系)	G高校 (商業系)	H高校 (スポーツ系)	I高校 (女子高)	J高校 (男子高)

県立高校説明会		3年1組会場	3年2組会場	3年3組会場	図書室会場	会議室会場
第1 ターム	13:40～ 14:00	A高校	B高校	C工業高校	D商業高校	E高校
移動・準備 (15分)						
第2 ターム	14:15～ 14:35	A高校	B高校	C工業高校	D商業高校	E高校

② 開発的生徒指導を仕掛ける

開催期日の1か月ほど前の学年集会等で仕掛けます。

「来月は、いよいよ高校説明会が開催されます。今回も開発的生徒指導で進めたいと思います。皆さんの出番は、手元の資料に記されている通りです。やってみたいと思う人は、○○先生まで申し出てください。なお、2枚目の資料は、希望調査です。参加したい高校を2つ記入して、○○日までに担任の先生に提出してください。」

③ 生徒の出番を設定する

高校説明会の出番と役割は次の通りですが、実行委員会では、議論の深まり方しだいで、生徒が主体的に出番、役割を設定することあります。

主な出番・役割
<p>私立高校説明会実行委員長（1名） … 実行委員会を主催する</p> <p>* 3～4回の報告会を開催し、各係がどのような企画運営をしようとしているか、またはその企画がどこまで進んでいるかなどの情報共有を行う。報告会で共有された情報は、各クラスの朝の会や帰りの会などでクラス全体に提供される。</p>
<p>私立高校説明会実行副委員長（1名） … 委員長を補佐する</p> <p>* 委員長とともに会を開催する。</p>
<p>会場責任者（5名） … 会場設営をする</p> <p>* 会場責任者は、会場の清掃、垂れ幕、案内札、参加者数に応じて座席のレイアウトを考える。</p>
<p>司会進行係（10名） … 会の進行をする</p> <p>* プロジェクター、PC等の準備、講師の紹介のための情報収集、進行マニュアルの作成を行う。</p>
<p>案内誘導係（10名） … 校長室から会場までの案内、誘導をする</p> <p>* 校長室で出迎えをして、会場まで誘導する。</p>
<p>質疑応答係（15名） … 事前アンケートによる質問の集約を行い、当日質問する</p> <p>* 学年全体に質問したいことのアンケートを実施し、講師に質問したいことをまとめ質問する。回答は、広用紙等にまとめ掲示する。</p>
<p>謝辞係（10名） … 高校の先生による説明が終了した後にお礼の言葉を述べる</p> <p>* ある程度事前に原稿を作つておく。</p>

(4) 生徒の役割を設定する

画像の女子生徒の出番は誘導案内係です。校長室まで高校の先生を迎えて行き、会場となるクラスまで案内するという役目です。単に「高校の先生を校長室に迎えにいって会場までお連れしてください。」とのアドバイスではいけません。事前に先生と一緒にリハーサルをすることで、たった5分程度の出番が重み付けされます。リハーサルでは、場面ごとに生徒に考えさせる問い合わせをしなければいけません。その問い合わせで正しいあいさつの仕方を考えたり、失礼のない立ち位置を探ったりします。

当日は一生懸命覚えた通りに振舞います。その緊張感とぎこちなさは、普段、お目にかかることがありません。説明会の会場では会場責任者と司会進行係が待機しています。彼らもまた、いろんな準備が必要であることを事前に気づきます。司会進行の仕方はマニュアルを作ることから始まりますが、高校の先生の紹介は名前だけでなく、教科や担当部活動もあわせて紹介します。つまり事前に情報を収集しなければならないわけです。そこで、校長室に迎えに行った誘導案内係は、自己紹介と日程を伝えた後、さりげなく会話で情報を収集します。

「〇〇先生は高校で何の教科を教えていらっしゃるのでしょうか。」

「私は〇〇部に所属しておりました。先生も何か部活動をご指導されていらっしゃいますか。」

誘導案内係は、会場に入るところで司会進行係にその情報を伝えます。司会進行係は講師紹介時にその情報を加えます。

「何と言ってお迎えすればよいのだろう。」
「先生のどっち側を歩いたらよいのだろう。」
「何歩先を歩けばよいのだろう。」
「階段は何段先を登るのだろう。」
「会場まではどんな会話をすればよいのだろう。」



【画像 29】

高校の先生を会場まで案内する誘導案内係
高校説明会【金泉中 H22 年度】



【画像 30】

高校の先生を校長室に迎えに来た誘導案内係
高校説明会【金泉中 H22 年度】



【画像 31】

会場内の様子
高校説明会【金泉中 H17 年度】

⑤ 出番・役割の広がり

生徒の出番、役割は実行委員会で増えます。当初予定されていなかった校内清掃係やスリッパ揃え係が実行委員会で提案されます。

実行委員会での議論が深まると、「高校の先生に好印象を与えるたい。」という願いが芽生えます。そのことを実行委員会が学年集会で伝えると、「自分も実行委員会に入り、何かしたい。」という生徒が現れます。

右画像は休日の日曜日の様子です。玄関マットは持ち帰って洗ってくることになりました。校門や玄関周辺だけでなく敷地内すべてが清掃箇所となります。我も我もと校内清掃係は数十人となり他学年のフロアや特別教室まできれいになります。「娘に頼まれたので庭先の花を持ってきました。」と新聞紙に包んだ切花を保護者が置いていきます。女子生徒は学校にある花瓶で足りなくなつたためビーカーや試験管を一輪挿しにします。

年末の大掃除どころの話ではなくなります。ここまできれいになった学校に気づかない高校の先生はいません。

校内掲示物も一変します。実行委員会では、驚くべき議論がされていました。実行委員会が立ち上げられた当初は、「高校の先生に好印象を与えるたい。」がねらいとしてありましたが、実行委員会も回を重ねると生徒の中から、「高校の先生には気持ちよくお話ををしていただき帰ってもらおう。」という意見が出てきます。実行委員会では「どのようにしたら、気持ちよく帰ってもらえるのか。」が議論の柱となります。

結果的には、掲示物を充実させることとなりました。高校の最新情報が満載された広用紙が提示されました。それは単に高校の学校HPからコピペしたものではなく、自分たちで調べたものでした。直接先輩を取材して得た生の声、実際に自転車で計った時間と距離、部活動の様子、就職先や進学先についてはそこがどのような会社か、大学かなどを調べて記載していました。



【画像 32】

休日にスリッパを並べに来た実行委員と応援の生徒たち高校説明会【金泉中 H17 年度】



【画像 32】

休日に掃除をしに来た実行委員と応援の生徒たち高校説明会【金泉中 H17 年度】

(6) 生徒の承認

承認は来校された高校の先生をはじめ、本校職員が行います。また、高校説明会を参観自由として事前に保護者や地域の方々にご案内すれば、承認場面は広がります。ただし、開発的生徒指導は意図的に行われなければなりませんので、事前に学習内容と生徒の出番、役割、そして承認のポイントを伝えておく必要があります。

金泉中では、全ての来校者にメッセージカードの記入をお願いしていました。メッセージカードは、生徒に対しての応援メッセージであり、このカードが承認となります。いただいたメッセージカードは校内に掲示します。

このメッセージカードには、「金泉中学校の生徒さんがすばらしい接待や会の進行をされているのに感心しました。話を聞く態度は多くの中学校を訪問しましたがNo.1だと思います。・・・」と書かれています。

[画像 33]

2007年 県立高校説明会

本日はお忙しい中、来校していただきまして大変ありがとうございました。お疲れのところ誠に申し訳ありませんが、下記の項目についての感想等をお聞かせいただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。

◆ 本校3年生の高校説明会の取り組みについてどのように感想をお持ちになりましたでしょうか。また、司会・誘導・質疑応答などの取り組みを通じて3年生に対してどのような印象を受けられたでしょうか。今後私たちの活動や下級生に反映させたいと思いますのでお聞かせください。

(高志食官)高校 ご氏名 太田 嘉武

金泉中学校の生徒さんがすばらしい接待や会の進行をされるのに感心しました。話を聞く態度は多くの中学校を訪問しましたがNo.1だと思います。

どうかこれからも授業や部活動に全力投球して、進路各の目標を達成してください。

高志食官高校に来て活躍してくださいを期待しています。



高校説明会で高校の先生からいただいたメッセージカード
【平成19年 金泉中】

(7) 生徒をつなげる

金泉中では、10月上旬に私立高校の高校説明会を実施します。この時に実行委員会を立ち上げますが、10月下旬に行われる県立高校説明会は新たな実行委員会が担当します。

私立高校の高校説明会を担当した生徒は、県立高校の高校説明会実行委員会にアドバイザーとして参加します。自身の経験を生かして新実行委員にレクチャーします。例えば誘導案内係のリハーサルでは高校の先生役を先生が行いましたが、ここでは旧実行委員が担当します。このような場面が生徒間の承認場面ともなります。担当の先生はその光景を微笑ましく見守るだけとなります。

3 開発的生徒指導で「先輩に学ぶ」を仕組む

主に総合的な学習の時間での取り組む「先輩に学ぶ」です。近隣の高校に進学した卒業生を学校に招き、学校のことや将来のことを聞いて高校生となった先輩の生き方にふれます。

学校によっては「職業人に学ぶ」という取り組みをしている学校もあります。

実行委員会を立ち上げ、実行委員長、副委員長、そして依頼する先輩の担当となる係、会場責任者、司会進行係、講師紹介係、謝辞係などを学年から募集します。要領は「高校説明会」とほぼ同じです。



【画像 34】
校長室に高校の先輩を迎えて説明会を行った
説明会実行委員会【先輩に学ぶ【金泉中 H17 年度】】

4 新入生学校説明会（小中連携）を仕組む

主に小学6年生を対象とした新入学説明会は、中1ギャップ解消、及び開かれた学校づくりの観点から多くの中学校で実施されています。学校によっては、保護者のみ、小学6年生と保護者、小学6年生のみと様々ですが、ここでご紹介する事例は小学6年生と保護者を対象とした説明会です。

中学校入学を控えた小学6年生の不安要素ベスト3は、「中学校の勉強についていけるかな。」「新しい友達できるかな。」「部活動の先輩とうまくできるかな。」です。この不安要素は保護者も同じです。そこで、本事例はこの不安要素に対して中学生がていねいに解消のためのレクチャーをするとともに、会を通して中学生にあこがれや尊敬の念を持つことをねらいとして仕組まれたものです。

(1) よくある新入生説明会は？

中学校入学を控えた小学6年生と保護者を中学校に招き、学校説明会を開催します。

[時期]…11月から2月の間に開催されます。学校によっては、6年生のみを対象とした

説明会と保護者同伴を対象とした説明会の2回開催、または保護者同伴のみの1回を開催する学校があります。

[日程]…6年生は午前中授業、給食、
帰りの会を済ませてからランドセルを背負って先生と一緒に徒步で来校します。約2時間の日程が多いようです。

[目的]…中1ギャップを取り除くことです。6年生の多くが不安と期待に胸を膨らませています。中1ギャップによる不登校が増加する中で、できるだけ入学前の6年生が安心して入学準備ができるようにと配慮した取り組みです。

新入生学校説明会 会順

- 1 開会
- 2 校長のあいさつ
- 3 教育課程の説明（教務主任より）
- 4 学校生活のルール（生徒指導主事）
- 5 部活動紹介（体育主任より）
- 6 物品販売について（教務主任より）
- 7 閉会

新入生学校説明会は、教務主任の先生による司会進行で、校長のあいさつから始まります。続いて、資料に沿って教務主任が説明をします。教科担任制のこと、新しく加わる教科のこと、50分授業のことなどを説明します。生徒指導主事からは、学校生活のきまりや校外生活のルールについて話をします。5の部活動紹介は実演ではなく、部活動の種類や時間、または中体連のことについて説明をします。最後に、入学前に購入しておかないといけない物とその販売店などの紹介をして終わります。

終始、資料に沿った説明で、保護者や6年生は資料に線を引いたりメモを取ったりしています。

②開発的生徒指導で生徒の出番を仕組む

司会進行はすべて生徒が行います。

司会進行は副生徒会長です。この出番は2名、または3名でも構いません。

画像35の会順3は生徒会学習部部長が説明をします。プレゼンテーションソフトパワーポイント（以下：PP）を活用しますので、PPの制作編集係や授業の様子の動画記録係、授業アンケート集約係が必要となります。

授業の様子はアクティブ・ラーニング（以下：AL）の授業の動画に沿って、ALの良さ、授業でどんな力や能力が伸びるかなどをアンケートの回答や数字で説明します。

画像35の会順4のビッグイベントとは体育大会と文化発表会のことです。制作係は静止

画、動画を駆使して感動を伝えようと必死になつてPPで制作します。

画像35の会順5は、男女夏服、男女冬服、体操服のファッショショです。体育館ステージはまさにパリコレ（東京ガールズコレクション）です。ステージモデルは募集します。人数は多くても少なくとも構いません。少なければ1人2役となりますし、多ければ複数人でステージ登場とすれば良いのです。

画像35の会順6は主に1日の学校生活を時間割表や校内風景の静止画に合わせて説明します。

画像35の会順7は各学年の修学旅行の紹介です。特に実行委員会の活動を中心として事前の取り組みからPPを活用して紹介します。

画像35の会順8は入学時に必要な物品の購入方法の説明をします。

画像35の会順9の閉会は校長があいさつをします。先生の出番はほとんどありません。

【画像35】

新入生学校説明会 会順

- 1 開会（副生徒会長）
- 2 生徒会長のあいさつ
- 3 各学年の学習の様子&勉強の仕方
(生徒会学習部部長)
- 4 ビッグイベントの紹介
(環境部部長)
- 5 制服体操服ファッショショ
- 6 居心地よく過ごすためのルール
(生徒会生活部部長)
- 7 修学旅行ダイジェスト
(修学旅行実行委員会)
- 8 物品販売について（生徒会本部）
- 9 閉会（校長）



【画像35】

校区内2校の6年生と保護者【新入生説明会【金泉中H17年度】】

③生徒の役割を仕組む

制服紹介の本来の目的は身だしなみや正しい着こなしを示すことです。しかし、資料に沿って口頭で伝えようとしても伝わるものではありません。そこで、係の生徒には、正しい着こなし方と正しくない着こなし方を分かりやすく示すようにと指示をします。生徒は意外にもBGMをかけたり、正しくない服装を示したりすることはよくないことと考えている場合がありますので、BGMをかけたり、正しくない服装を実際に見せることで伝わるものだと教えておきます。すると、安心して取り組みます。



【画像36】

6年生と保護者を前に司会をする生徒会【新入生説明会【金泉中H17年度】】

体操服ファッショショは、運動神経の良い生徒に出番を与えると華やかになります。バクテンをしたり、ダンスをしたりします。ステージ袖は大忙しとなります。

⑷生徒の承認場面を仕組む

6年生への事前アンケートで分かるように、中1ギャップの不安要素の第1位は圧倒的に、「他の学校の6年生と仲良くなれるかな。」でした。第2位は、「勉強についていけるだろうか。」、第3位が「部活動の先輩とうまくできるだろうか。」です。この不安要素に沿って中学生がその解決策を紹介しますので、小学生は興味津々で会に臨みます。その小学生の姿はすでに中学生にとっては承認を意味しています。

3時間越える説明会ですが、6年生にとっては大変有意義な時間となりますし、多くの中学生に出番、役割を仕組むことができる会となります。

6年生の感想には、「自分も中学生になったら、あんなことができるだろうか。」だったり、「あんなお兄さん、お姉さんになりたい。」と書いていました。中には「学校帰りに寄ってみてもいいですか。」と書いている児童もいました。



[画像 37]

アンケート記入をする6年生【新入生説明会【金泉中 H17年度】】

⑸最後までていねいに

当然のことかと思いますが、会場となる体育館はシートをひき折りたたみ椅子を準備します。気温が低いようであればストーブに準備も必要です。

体育館にストーブ?と思うかもしれません、それは心の問題です。

ちなみに、アンケートは、6年生一人一人に上級生からお手紙を返します。

[画像 38]

新入学説明会での小6年生の感想より

初めは不安だった中学校生活も少し安心したし、久保泉小学校の人も楽しそうな人はかりで仲良くなれそうだし、たので中学生にならても楽しく過ごせるうなのでよかったです。そして、部活動が入って先は…たろと仲よくしてがんばりたいです。

感想 私は新入学生説明会で新しい友達がでたりして、久保泉小学校の友達と仲良くなれるか不安だったけど!少し安心しました。1年生からは中学校での注意など"を開いて分かりやすくてよかったです。

不安なこともあるけど、入学生説明会を見ていたら、やさしい先輩ばかりに見えました。なので少し安心しました。楽しい中学校生活をやりたいと思います

5 小学校始業式で体育大会のプレゼンをする

中学校の体育大会の種目に小学生と中学生が一緒に競技する種目があります。鏡中の場合は小学生対中学生の大綱引きです。

この競技への参加依頼と中学校体育大会の宣伝を兼ねて小学校に行きます。

鏡中の体育大会は9月第2週の日曜日です。1学期終業式では夏休みを挟みますので、2学期始業式に小学校を訪問します。PPで昨年度の体育大会の様子を映し出しながら、「ぜひきてください。」との呼びかけをします。時間は7~8分程度です。同時間帯に中学校も始業式を行っていますが、担当の先生と係の生徒が出向きます。

承認は、小学生や小学校の先生方となります。また、学校評議員の方々や地域の学校協力者に連絡をしておくとさらに承認が広がります。



全校児童を前にプレゼンする【生徒会小中連携【鏡中 H26 年度】】

6 民生委員会に開発的生徒指導を仕組む

「鏡中生徒会では、奇跡の一本松募金のためにアルミ缶回収を行っています。そこで民生委員の皆様にご協力のお願いに上がりました。本校生徒会の取り組みを地域でお話していただければ幸いです。よろしければ、アルミ缶を学校までお持ちいただければと思っております。回収につきましては、歩道からすぐに入れられるように回収用の大きなかごを設置しております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。大切な時間をいただきましてありがとうございました。」

月1回、近くの公民館で開催される民生委員会の冒頭で生徒会の取り組みを紹介します。



民生委員さんを前にプレゼンする生徒会【生徒会地域連携【鏡中 H26 年度】】

予め、民生委員の方々には開発的生徒指導の視点をお話しておきます。民生委員の方々の温かい表情が生徒にとっては承認となります。

Ⅲ

そもそも、生徒会活動は開発的生徒指導で行われている

生徒会活動とは生徒会本部の活動や、専門部会の活動を指します。生徒会本部役員や専門部部長、副部長の選出はおよそ生徒会長が指名したり、先生たちが生徒の希望等聞きながら選出したりします。生徒会長はじめ、生徒会役員学校全体のリーダーであり選ばれた者であるという意識も高く、その活動そのものが主体的と言えます。学校内には生徒会担当の先生がいますので、生徒会活動の企画運営は担当の先生と相談しながら進めています。学校によって異なりますが、毎月の専門部活動に加え平和集会や文化発表会などの活動があります。入学式や卒業証書授与式を生徒会主体で行う場合もあります。

さて、ここでは事例を基にして、「そもそも生徒会活動は開発的生徒指導で行われている」という根拠にふれます。



4月の生徒会朝会【鏡中H29年度】
生徒会長の話、専門部部長による
月目標等が打ち出されます。

1 学習クラスマッチ

学習クラスマッチは多くの学校で実施されているような取組ですが、大切なことは開発的生徒指導としての価値付けをすることと、承認場面を丁寧に行うことです。通常、勝った学級やチームが表彰されてまとめとなることが多いのですが、ここでは勝った学級やチームがどのような取り組みをしたかを発表させたり、生徒会活動の一環として表彰し、その一連の活動を先生が承認することまで行ったりすれば開発的生徒指導となります。

また、クラスマッチに教科学習を取り入れることで学習に対する意識が向上や、家庭学習の定着への広がりも期待できます。

項目	内容等
学習クラスマッチの主催	生徒会学習部が主催する。生徒会学習部部長（または副部長）は生徒会活動年間計画や生徒会朝会等で事前に通告しておく。
実施時期	毎月、学期に1回、定期テスト前など時期はそれぞれである。

実施教科	主として5教科であるが、学校によっては国、数、英の3教科であったり9教科であったりする場合もある。
取り扱いの時間	朝の会、昼休み、帰りの会など。
問題作成	出題範囲、問題を事前に対象学年に配布するが、解答まで配布することもある。問題は生徒会学習部が作成するが、担当教科の先生が作成する場合もある。できるだけ全員が満点に近い点数を取れるように配慮する。
集計結果公表	まる付け、クラス集計は学級の学習委員が行い、集計結果を基に生徒会学習部が生徒会朝会等で表彰する。
開発的生徒指導の視点	<p>① 表彰の際は、生徒会学習部部長等が表彰するが、また、学習クラスマッチに向けてクラス全体で取り組んだことや学級の雰囲気でよかったことなどを学級の学習委員等に発表させることで学級の係にも出番、役割、承認の場を与える。</p> <p>② さらに、生徒会担当の先生や学年主任の先生からの承認の言葉があれば良い。</p> <p>③ 学級のまとまり感は大きな行事（修学旅行や体育大会）や運動系クラスマッチだけでなく教科の学習を通して高めることができることを感じられる。そのためにも問題の難易度を低く設定したり、問題や解答を事前に知らせたりして学力低位の生徒も十分に取り組むことができるようすれば生徒一人一人の所属意識や帰属意識の高まりも期待できる。</p> <p>④ 問題は一問一答方式にすると、休み時間等にグループで解答を言い合ったり、暗記したことを互いにチェックしたりする光景が見られるようになる。</p>

2 毎月の生徒会朝会をひと工夫する

生徒会本部役員による司会進行で、まずは生徒会長の話、続いて専門部部長、副部長が専門委員会等で決定した「今月の目標」と「具体的実行項目」、「重点項目」を発表します。通常よく見かける生徒会朝会です。学級では、後方掲示板に専門部ごとに掲示します。校内の通行の多い箇所に生徒会専用の掲示板を設置し、月目標などが掲げられています。生徒会本部や専門部としては十分な活動であり、その努力も立派なものですが、反面、全校生徒に定着しているかと言えばなかなかそうとは言えないようです。

定着しない理由としては、発表や掲示物の掲示を済ませば活動自体が「それで終わり」となる場合があげられます。

そこで次のような工夫をして出番や承認場面を増やして開発的生徒指導として価値付けします。



「世界のごみ問題」というタイトルで 10 分プレゼンをする生徒会環境部【鏡中 H28 年度】

項目	内 容
専門部の プレゼン	<p>① 4月は環境部、5月は学習部、6月は保健衛生部と、月々に関係の深い専門部がテーマを設定し、10分程度でプレゼンします。</p> <p>② 指導はちょっと大変ですが、生徒会担当の先生が指導するのではなく、各専門部担当の先生が行います。</p>
プレゼン 内容の例	<p>① 4月環境部の例：環境部主催で地域クリーン作戦やアルミ缶回収を通年で行なっていれば、地域クリーン作戦を行ったことで地域から出たごみの量、地域の人からの感謝の声などの紹介。</p> <p>② 5月学習部の例：前回、または前年度の学習クラスマッチの集計結果や学級の取り組み紹介など。</p> <p>③ 6月保健衛生部の例：梅雨時となるため、室内での過ごし方や室内で多い事故や怪我の紹介など。</p>
承認場面	この場合、先生が承認するのではなく、プレゼン内容を実践し調査やアンケートを実施し、何がどのように向上したか、または低下したかなどの集計結果の分析を自校の集計結果を再度紹介することで生徒同士の承認場面を設定できます。さらには生徒会活動の充実も期待できます。

開発的生徒指導はその理論を先生方に示し、全校的に行うことができる活動を実践するとすぐさまその効果が表れます。「自分にもできるようになった。」「やってみようとしている人の支えになることができた。」と感じ、自己肯定感の高まりを目前で見ることができれば先生もその重要性が理解できるものです。

ここでは、あえて開発的生徒指導の計画カリキュラムを提示しなくとも職員室の先生が自身の仕事（校務分掌）を開発的生徒指導に視点を取り入れて実践した事例を紹介します。

1

「A L 授業の臨み方プレゼン」の例

なじみの深い講義型一斉授業は先生が教科書に沿って解説し、時折グループ活動をしたり、個別に考えたり発表したりしながら学習を進めていきます。A L（アクティブ・ラーニング）は、めあてを確認し学習課題を自分たちの力で解決していく授業です。分からぬところがあれば、仲間に何度も聞いたり、自分で先生に尋ねたりしながら学習を進める授業です。つまり主体的にならざる学習を進めることができます。また、個人やグループで学習する時間が多くののでややもすると余計なおしゃべりが多くなったり、何もせずに時間が過ぎてしまったりする場合があります。生徒にとっては、「先生が教えてくれない。」「自分で勉強しなければならない。」と言う不満や不安を持つかもしれません。



[画像 43]

2 学期始業式では、A L開始に向けて授業への臨み方や効果を発表
【鏡中 H28 年度】

通常は、先生が授業の流れや臨み方などの説明をするところですが、鏡中では生徒が行いました。A Lについて調べたこと、授業に上手に参加するための留意点などを先生から教えてもらったことなどを発表します。鏡中では生徒会本部役員が行いましたが、募集をかけて実行委員会形式で行っても良いでしょう。大切なことは、全校生徒が身近な生徒からが学力や学習についてレクチャーを受けることです。生徒が行うことによって、生徒会の定期行事として位置づけることができます。継続的に行うならば、「A Lでよかったこと・困ったこと」などのアンケートを行い全校生徒にその声を反映させることで学力向上に対する生徒の気運も高まりを期待できます。

2 | 文化発表会を開発的生徒指導で仕組む例

文化発表会はその名の通り文化的な活動を発表する行事です。英語暗唱大会学年代表者の発表、各学年からの総合的な学習の時間の取組発表、学年劇、生徒会劇、プラスバンド部の演奏などがステージ発表で、展示発表は体育館壁面や学級で行われます。時間の都合もあると思いますが、生徒の良さを引き出し、良さを伸ばすために通常のプログラムに加えて、一部応募制にします。

例えば、バイオリンやピアノ、和太鼓などの独奏や独唱、もちろん音楽性の高いことが条件となります。お花を習っていれば生け花の実演、ミュージカルをしていれば、有名なミュージカルの一部を演じたりさせます。以前、墨絵を習っている生徒がいましたが、家庭から、「ぜひ、文化発表会のステージ発表でお願いします。」とあり、プログラムに入れたところ、珍しさに加えいつもとは違う面を見ることができた喜びを全校生徒が覚え、実演終了を待たずの拍手喝采でした。



イメージ画像【鏡中 H28 年度】

文化発表会を部活動や教科・領域等での発表の場と位置付けるとせっかくの才能や特技を学校が知らないでいることになり、それはそれでもいいことです。それぞれの能力や才能を披露し、学校全体でその能力や才能を認める場の設定を文化発表会に求めれば、生徒にとって魅力ある学校になることは明らかです。

3 | キャリア教育主任が仕組む1年生マナー検定（総合的な学習の時間）

生徒の良さを伸ばす、良さを引き出す生徒指導のあり方を先生方に紹介すると、スイッチが入り、開発的生徒指導を実践しようとする先生がいます。スイッチが入る理由としては次の2つです。「荒れた学校は二度と御免だ。だから開発的生徒指導をやろう。」と「そんな簡単な手立てで生徒がよくなるんだ。だったらやってみよう。」と考える先生です。スイッチが入らない先生がいるとしたら、それは単純に「面倒くささ」や「忙しい」を理由にする先生でしょう。

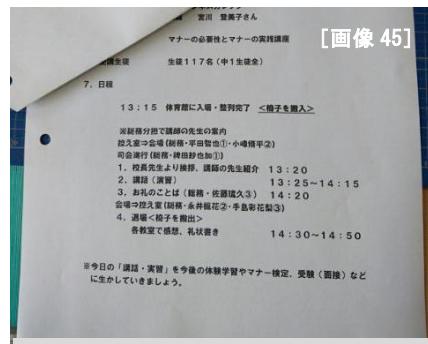
さて、鏡中では、学校経営案に開発的生徒指導での学校づくりをうたっているものの、さほど実践に向けての指示はしていませんでしたが、いつの間にかスイッチが入っている先生がいました。

キャリア教育の担当となった先生が「マナー検定」を取り入れたいと企画されたところ、外部講師を招聘した講演会の企画には、生徒司会、生徒誘導案内係、生徒による講師紹介、生徒による謝辞の計画が盛り込められていました。

職員会議後、講師誘導案内係の模擬練習が始まりました。担当の先生の立派なところは、模擬練習を昼休みにされるところです。放課後の部活動の時間を奪わないように配慮されているところです。また、校長室での模擬練習では、校長先生役、講師の先生役を自らされて、生徒に緊張感を持たせられるところです。

担当の先生が開発的生徒指導に立った指導をしたり、行事を立案したりしたときは、校長もすぐさま反応します。

「〇〇先生、開発的生徒指導の実践ありがとうございます。大変うれしく思います。私もこんな物を作成してみました。マナー検定合格証ですが、使えますでしょうか。よろしければ私が印刷します。」と声かけをします。先生たちの創造性と努力を言葉や態度で褒めることはとても大切なことですが、具体物で提示すれば、先生たちに「校長先生と一緒に仕事した感」が芽生えるでしょう。管理職も先生たちに対して開発的生徒指導を行うのです。



計画書に盛り込まれた開発的生徒指導【鏡中 H29 年度】



講師誘導係の事前練習【鏡中 H29 年度】



3 教務主任が仕組む「教育講演会」

開発的生徒指導を定着させたいときに、手早く行うことができる実践は、講師招聘した研修会での運営です。

鏡中では、教務主任が行事における開発的生徒指導の企画運営を行うようになりました。

「親子で聞く教育講演会」の一週間ほど前に教務主任が放送で呼びかけました。呼びかけの出番・役割は、誘導案内係、司会進行係、演題浄書係、質疑応答係です。人数の限定はありません。集まった生徒とともに教務主任の先生が打ち合わせを行います。

誘導案内係には、ノックの仕方、あいさつ、自己紹介の仕方、会場となる体育館までのレコードライン、誘導案内時の会話の仕方、会場の講師席まで案内した後の振る舞いをレクチャーします。

司会進行係には、教務主任が作成したマニュアルを渡し、前日に会場練習をしました。

浄書係は前もって準備された垂れ幕用の広用紙と演題等を渡すだけです。

質疑応答係は、前もって質問を準備させておきます。質疑応答は会を盛り上げたり、参加者の学びを深めたりする良さがあります。質疑応答係にはそのことを伝え、出番・役割の認識を高めさせます。質の高い質疑をさせるためには、事前に講師の先生の情報や、何のために講演会を企画したのかなどを知らせておかなければなりません。闇雲に指名しても指導をしていないと、突拍子もない質問やとんちんかんな質問をしたりしますので気をつけておくことが大切です。

今回の謝辞係は生徒会長でした。謝辞はそう簡単なものではありませんので、講演の最中はもっぱらメモをとります。講演が終了すると同時にタイミングで謝辞をしなければならないので、メモを見ながらアドリブで謝辞をします。

生徒会長ともなれば、講師の先生が使用した言葉を巧みにつなぎ、大人顔負けの謝辞を行いました。

閉会行事の前に、実行委員会の紹介をします。いつものことながら、ステージ前で紹介します。実行委員の意欲、苦労話、できるようになったことなど丁寧に紹介することが大切です。



講師誘導係の本番【鏡中 H29 年度】



【画像 48】
生徒による司会進行【鏡中 H29 年度】



【画像 49】
質疑応答係【鏡中 H29 年度】



【画像 50】
謝辞係【鏡中 H29 年度】



【画像 51】
親子で聞く教育講演会実行委員会のメンバー【鏡中 H29 年度】

講師招聘による行事や学習会で、実行委員会を仕組むと開発的生徒指導の定着は早くなります。それまでは、講師のお出迎え、案内誘導、司会進行、謝辞を先生が行っていたのを生徒に行わせるので、事前の準備や打ち合わせの指導は時間を必要とします。しかし、実行委員会の多くの生徒は口にします。

「緊張した。」

「どきどきした。」

「うまく言える自信がなかった。」

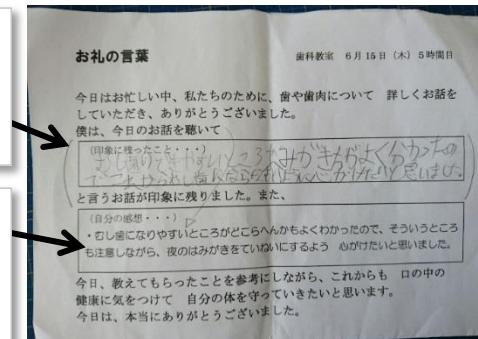
このような言葉を生徒から聞くと、先生は生徒の「伸び」を感じますので、「他の生徒にもチャンスを与えて伸ばしてあげたい。」と思うようになります。

この四角内は自分の感想を書くスペース。自分で2行ほどの言葉にまとめている。

自分の感想がまとまらなかった時は、この四角内の文章を読む。

養護教諭の指導の声かけ

「お礼の言葉の前後の言葉はこの原稿のままでもいいですよ。中段の感想は、先生のお話を聞いた感想をまとめることができたらそれを言えばよいのですが、まとまらなかつたらこれを言えばいいですよ。」



養護教諭が作成し指導した謝辞の原稿【鏡中 H29年度】

[画像 52]

1 体育大会の応援団演舞がこれだった。

中学校の体育大会で応援団の演舞を行うところも少なくないでしょう。3年生にとっては、応援団に入ることがステータスであり、団長ともなれば中学校生活最高の名誉を感じているかもしれません。

この応援団の演舞、中学校生徒指導では校内生徒指導の協議としなければならないところです。

例えば、学校が落ち着いており、応援団メンバーに問題行動の心配がなく、全校にも純粋にその勇姿を賞賛する風土が整っていれば良いのですが、学校が荒れていて問題行動の心配がある生徒が多い場合は次のことが心配されます。



応援団の演舞【某中学校】

- ① 画像のような衣装に憧れて問題行動系の生徒が応援団や団長になりたがる。
- ② 問題行動系の生徒が校内のボス意識を持ち応援団を構成する。
- ③ 演舞の練習期間に団員の上下関係が成立することで、金銭の動きやいじめの心配が予想される。
- ④ ルールを破り、勝手に衣装の装飾品を増やしたり、化粧、眉そり、頭髪の加工をしたりする。体育大会演舞の直前にするものが予想される。
- ⑤ 他校の問題行動系の生徒が練習の時から応援に訪れる。その広がりは体育大会当日の参観者となって現れる。
- ⑥ 問題行動系の生徒が体育大会以後もボス意識を持続し、校内生活指導が困難になる。
- ⑦ 学校生活内外で模範となって活動していた生徒が目立たなくなる。
- ⑧ 中間層の生徒たちが問題行動系の生徒に流れていく。
- ⑨ 問題行動系以外の生徒が先生の指導や問題行動系の生徒に不満を持つ。
- ⑩ その他

さて、某中学校で見た応援団の演舞のようすが右画像です。団長は、和装でもないのになぜか学ランには必要のないたすき掛け、学ランの胸ポケットには全く必要のない赤バラのコサージュ、そして、白はかまに白手袋の装いです。団員も男女とも学ランを着用し、白手袋に必要

以上に長いはちまきをしています。このまま族車にまたがってもおかしくない衣装です。

ここで問題なのは、いつからこの衣装になったかと言う事です。たぶん徐々にエスカレートしたのでしょうか。

生徒は高校の体育祭からヒントを得ます。かっこいいと感じるのでしょうか。

応援団の演舞を取り入れたときは、できることに喜びを感じ、体操服でも大満足だったことでしょう。

しかし、やりたいことは広がります。

「私たちも高校生のように応援団したい。」との思いが多くの生徒に芽生え始めたのでしょうか。

「学ランがいい！」

「団長は白のはかまがいい！」

「高校生も白の手袋をしている！」

「団長はやっぱりみんなとは違うからかっこいいコサージュをつけないと！」

「はちまきは地面に着くくらい長い方がかっこいい！」

「みんなで写真を撮りたい。」

「他校の友だちと一緒に写りたい。」

「コサージュをくまもんに変える？ニコチャンマークに変える？みたいな。」

「ラインで送りたい。」

「他校の友だちにも本番を見せたい。」

エスカレートは天井知らずとなります。

「少しくらい眉毛をそろえたい。」

「少しくらい唇をピンクにしたい。」

「演舞が終わってから体育館の裏で化粧して写真撮ればいいじゃん。」

「学ランの裏地、ちっちゃく刺繡入れる？」

「ペティキュアちょっとくらいしてたって意外とばれないし。」

「はちまきに、実は〇〇って書いたんだ。」

さて、どこまで想像できますか。「そんなことまではないでしょう。」と思うかもしれません、いつどうなるか分かりません。それが生徒指導です。

このような生徒の要望にうかつに許可を出したのか、いつのまにか生徒がそうしたのか分かりませんが、ここまでくると「今年から体操服でやりなさい。」は通用しません。なかなか難しいでしょう。

そこで、開発的生徒指導による「これ以上、衣装や振る舞いがエスカレートしないようにする！」指導を行います。指導は全校生徒に共通理解させるとともに、応援団員になった生徒にも再度行います。特に応援団の生徒には毎日でも自分たちが

[画像 54]



応援団長のみ胸元に赤バラのコサージュ【某中学校】

[画像 55]



応援団長のみ学ランに白はかま、団員は上下学ラン、すべての団員がたすき掛けと長めのはちまき、白手袋【某中学校】

言葉にして言うなどの指導をすることが大切です。

演舞も中学生は普通、体操服で行うもの。しかし、あなたたちの先輩方は一つ一つ勝ち取ってきています。学ランでの演舞は何年前の3年生です。この時は全校生徒が3ヶ月間一人も遅刻をしませんでした。体育大会後の遅刻者もいませんでした。見事な3年生だったのです。

白はかまに白手袋は〇年前の3年生が、その前の3年生の頑張りを見て、自分たちも努力目標を掲げて達成したからつけることができるようになったのです。その時の努力目標は1年間通して服装違反、頭髪違反をしないということでした。3年生だけでなく全校生徒が最後まで守ることができたのです。だからその翌年は長いはちまきと白手袋を先生方は許したのです。

胸元のコサージュの要求があった時は先生方もさすがにおかしいという議論になりましたが、その時の3年生は、これまでのすべての努力目標を全部守りますという努力目標を打ち立てて守り抜きました。さらに、一つでも達成できなければ、先輩方が勝ち取ったものをやめるという約束までしたのです。また、その3年生が素晴らしいと思ったのは、コサージュについての規定が「華美でないもの」とだけしかありませんでした。華美でないだけでは受け取り方も様々だということで、大きさと色の規定を自分たちでしました。それ以降、3年生が守れなかったことはありません。

今あるのはあなた方の先輩が一生懸命努力して勝ち取った宝物なのです。それを壊したら、一生後悔しなければなりません。なぜなら、あなたたちはいい思いをしても、次の後輩の時代からはなくなったではあまりにも恥でしょう。先輩方に敬意を表し、後輩たちへの面子をつぶさない事を期待したいものです。

さあ、あなた方3年生はどうしますか。

体育祭がいつからか「体育大会」という名称に変更されました。保健体育科の授業の一環であり、お祭りではないからです。また名称が変更された頃から、応援団の演舞は姿を消したり、全校応援という種目を取り入れたりする学校が出てきました。

同じく、文化祭は「文化発表会」となりました。スーパーからかき集めたダンボールで教室を幽霊（おばけ）屋敷にしたり、赤毛糸で蛙釣りをする釣堀や喫茶コーナーなどの遊び感覚の出店的な出し物をしたりする文化祭は一掃されました。

本来は、体育大会も文化発表会の学習の場面です。日頃から生徒たちが努力していることに対するご褒美として、多少緩くすることもありますが、緩くしすぎると学校が荒れたときに緩めたことが仇となるのは周知の事実です。

生徒指導の目標は生徒の自己実現です。そのために先生は誰と連携しながらどのような手立てを仕組むかが大切です。手立ての仕組み方しだいでは、よかれと思って指導していることが逆効果となり、生徒は同じ間違いを起こしてしまったり、思いのほか心の変容が見られなかったりします。また、その指導の方法によっては、本心で反省をするまでには至らず、逆に先生に対する不信感を抱いたり、生徒同士の信頼関係が崩れてしまったり場合もあります。そのような場合の多くは対処的生徒指導で終息させて、その後の指導を予防的生徒指導に頼っている場合が多いと言えます。

1 眉そりをした生徒に対する生徒指導

(1) 概略

[A君]

男子中学3年生、体育大会応援団長、生徒会副会長

[眉そりの理由]

学校全体のリーダー的立場にいる生徒が、夏の中体連が終わったあとに眉を剃って来た。理由を聞くと、「夏の中体連までは部活動の仲間に迷惑がかかるため眉そりはしなかった。夏の中体連が終わったので誰にも迷惑をかけないと思い眉を剃った。」と言う。

[学年の事前指導]

9月に行われる体育大会の応援団長に決定しているが、そもそも体育大会応援団に立候補する条件として身だしなみ、普段の生活態度、周囲からの信頼度等が事前に知らされており、多くの生徒が自己判断で立候補しなかったり、先生との教育相談で納得の上、立候補を取り下げたりしていた。

A君が応援団長に立候補した際は、身だしなみ、生活面の問題はなかった。

[担任・学年の眉そり発覚直後の悩み]

① 本人に対して

ア. 眉そりをしてはいけないと言う自覚の低さが明らかになった。

イ. 直後の教育相談では、応援団長や生徒会副会長として他の生徒の模範となるべき姿は特に意識していなかったと言う。

ウ. 事前指導により応援団への立候補を辞退している生徒がいるため応援団長を辞退させないと整合性が図れない。

② 周囲に対して

ア. 応援団長を辞退させないと生徒指導に温度差を感じてしまう生徒が出てくるだろう。

イ. 特に下級生に対して示しがつかない。

ウ. 同級生、下級生問わず眉そりに気づいた生徒がいれば必ず保護者間でも話題になるだろう。

③ 3学年部会による話し合いの内容

学年スタッフはこれまでに事例がなく今後の指導に見通しがつかない。

ア. 応援団長を辞退させるとしても、その経緯を全校生徒にどのように伝えるか見通しがつかない。

イ. 新たに応援団長を決めるにしても、夏休みを挟んでいるため、新応援団長を聞ける時間がない。

ウ. 今回の事案は「応援団長」に終始しているが、生徒会副会長でもある本人にどのような生徒指導を行うのかという指導に見通しがない。

[時系列]

7/14…地区中体連
 7/17…眉そり
 7/20・26・8/4…先生の気付きにより個別教育相談
 8/5…管理職に相談

[学年の結論]

ア. 辞退させるか、辞退させないかを、校長判断にしてほしい。

② 校長から学年スタッフへのアドバイス

事案の報告を受け、ホワイトボードで次のアドバイスをしました。

① 1回目の教育相談時のA君に「応援団長は辞めればいいんでしょう。」発言について眉を剃った理由を問いただしたり、今後の見通しについて考えさせたりすることは大切である。しかし、仮に本人が事の重大さに気づいたとしても自己のプライド、対面的な事への不安から動搖していることは予測がつく。「応援団長を辞めればいいんでしょう。」はそ

のような中での発言であることを考慮して、開き直りや焼けを起こした発言と捉えなさい。

② 体育大会応援団の実行委員会や練習までの日にはあまりありませんが、着陸地点がどの場合であっても本人の気持ちを整理してあげて本人が納得することを大切にしてください。時間をかけることが必要です。

③ 「本人をどう育てたいか。」、「学年集団をどう育てたいのか。」を心行くまで本音で議論することが集団づくりの根幹となります。

「この事案であれば、応援団長を辞退させるとなると、生徒会副会長も辞退されることになるでしょう。社会の縮図としての学校では決まりを守ったり、責任を取ったり、させたりすることは必要です。しかし応援団長を辞退したり、その後のバツ当番的な奉仕作業をしたりすることが、果たして生徒の自己実現に効果があるかどうかを考えなければなりません。」。このような話を学年スタッフとすると、「辞めさせることは本望ではない。」「辞めさせずにすむ方法はないだろうか。」などの展開になります。

④ 対処的生徒指導から開発的生徒指導への進展を図る手立てをレクチャーする

集団づくりの中で先生たちが教えたり気づかせたりすることは、支え合い認め合うことです。支え合い認め合う集団となるためには、支えたい生徒の心に周囲が寄り添い理解することから始まります。

支えたい生徒がたとえ反省をしていないとしても、仲間としてどう考えた方がよいのか、どのような接し方、かかわり方をした方がよいのかを考えさせなければなりません。

ア. 本人に対する指導のあり方

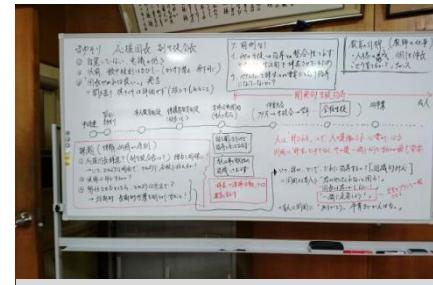
あ. 応援団長は自分自身が目立ちたいがためになってしまったのではなく、体育大会を成功させたいという全校生徒の願いを一身に受けてなったものであるということ。

い. 仮に3年生全體が、それでも(眉を剃っても)応援団長をしてほしいと願うならば、その願いに答えなければならないということを本人に気づかせなければならないということ。

う. 願いがかけられているからそれに答えるだけでは全體に示しがつかない。応援団長としては9月の体育大会までだが、生徒会副会長としては卒業後までかかわってくる。

え. 開発的生徒指導の視点では、本人にどのような行動、態度、振る舞い、活動で示しをつけるかを考えさせ、実行しようとしており、同時に同学年の3年生にどう理解させるかが指導のポイントとなる。3年生の多くが同調することが基本であり、その段階をクリアできて初めて下級生に示しがつくものであるということ。

お. つまり、この場合はありきたりの示しのつかせ方ではない。周囲の「反省とし



対処的生徒指導から開発的生徒指導の手立ては具体的に説明する
【鏡中学校】

て奉仕活動をしている。」という直感的見取りから、「献身的に身を粉にして奉仕している。」や「こんな事までやっている。」「こんな時間もやっている。」と間近で感じたり、「体育大会での応援団長としての活躍は素晴らしいから、もういいのではないだろうか。」との話が広がったりすることであろう。

イ. 周囲に対する指導のあり方

あ. 上述の内容が理解できる生徒に支え合い認め合うことの大切さと全校的に認められるための手段について事前指導をする。

い. 決まったことは先生たちも応援することを周囲にていねいに伝える。

う. 「許さない」からは何も始まらず、「許すこと」から支え合うことや認め合うことは始まるということ、「許す」ことだけでなくその後のかかわり方が重要であり、かかわり方を具体的に示すことができるようになる人となろうと教える。

工. 先生も一緒にA君と活動する。

(2) 対処的生徒指導と開発的生徒指導を区別する

生徒指導は常に対処的生徒指導と予防的生徒指導、開発的生徒指導を区別して指導にあたることが大切です。

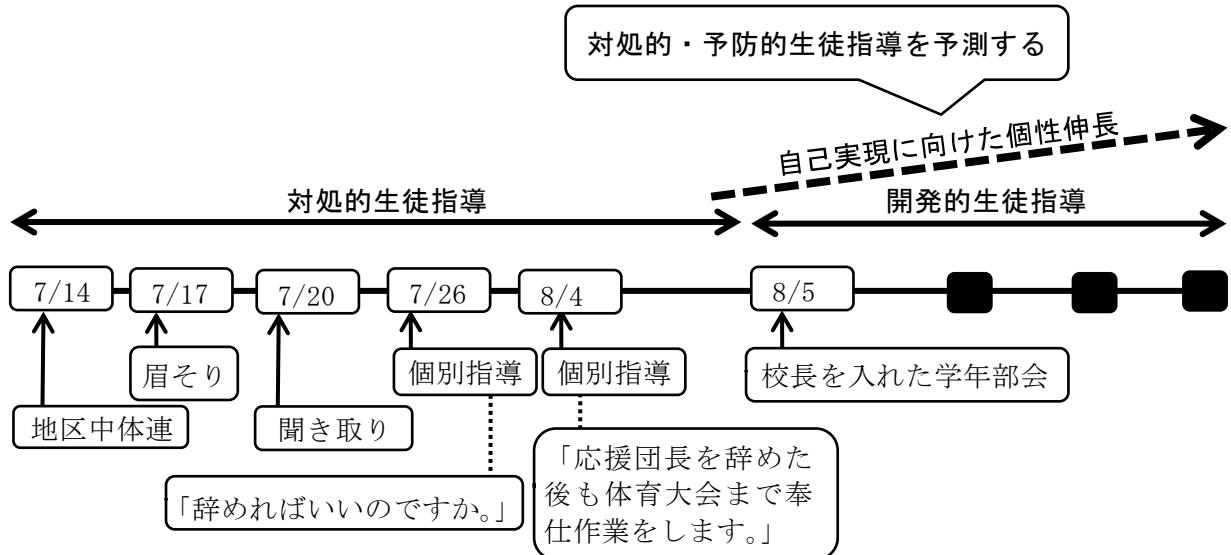
問題を起こした生徒に対して、本人への聞き取りや注意をしたり、保護者教育相談（以前は保護者召喚と呼ばれていた）をしたりすることは対処的生徒指導です。しかし場合によっては指導ではなく注意だけに終わってしまうことがあります。注意だけでは仮に反省できたとしても、そのことだけの反省に終わり、また同じ間違いを繰り返したりすることがあります。問題の大小にもよりますが、その後の指導が、生徒にとっては先生がかかわってくれたことで自身の成長を感じることができたと感じたり、周囲との関係がこじれずに済んだと思ったりすることができる生徒指導を進めたいものです。

本事案における生徒指導の区別は下のとおりです。

生徒指導はその発生となる要素が対処的生徒指導、予防的生徒指導、開発的生徒指導の何れかであっても、最終的には開発的生徒指導に発展させることが大切です。当然のことながら、開発的生徒指導の過程では対処的生徒指導や予防的生徒指導が発生しますので予測しておくことが必要です。

本事案の場合は、多くの生徒に気づかれていないという理由や奉仕作業をすればそれで良しとする逃げ道があります。また、時がたてば自然に罪の意識や責任感、周囲の記憶は風化するものですがそうであってはいけません。なぜならば、そこに指導がないからです。指導なくして成長はありません。

周囲、特に下級生が、「やっぱりあの先輩は素晴らしいと思う。だっていまだに頑張っているから。」や「3年生の先輩はいつまでも一緒に支え合って頑張っている。」と感じることができて初めて開発的生徒指導と言えるでしょう。「自己実現」「個性伸長」を目指す教育現場はこうあって欲しいと思います。



IV

「主体的で対話的な深い学び」, いわゆるALは開発的生徒指導！

平成29年3月に告示された新学習指導要領では、アクティブ・ラーニングという用語の記述がなくなり、それに代わって「主体的で対話的な深い学び」と表現されることになりました。本編では「アクティブ・ラーニング」と「主体的で対話的な深い学び」を同義語とし、以下「AL」と表します。

さてALは教員による一方向的な講義型の授業とは異なり、生徒の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法の総称です。能動的学習とは、発見学習、問題解決

学習、体験学習、調査学習等が一般的で、教室でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効な能動的学習でありALを仕組む際の有効な手立てとなります。

(文科省HPより引用)能動的な学習を仕組めば、生徒は認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成に発展します。多くの先生にとっては「汎用的能力の育成を図る」ための能動的学習をどのように仕組めばよいのかということに疑問を抱くのではないかでしょうか。また、たとえALが汎用的能力を育成する学習形態、または授業手法と言ってもどのような場面が開発的生徒指導と関係があるのかという疑問も抱くと思います。

そこで、ここではAL授業が開発的生徒指導の視点と合致する点をお話します。

[画像 56]



講義型一斉授業のイメージ画像

1 対話的な学習活動が多いAL

(1) ALの授業風景

ALは、対話的な学習活動を重視しますので、おのずと生徒同士のかかわりが多くなり、人間関係の深まりも期待できます。ただし、対話的な学習活動を仕組むためには、単元（中単元または大単元）の学習の流れに見通しを持たることや、1単位（45, 50分授業）あたりの学習課題（めあて）が示されていることが大切です。ここではALの方法論について述べませんが、対話的な学習活動が深まれば、次のような生徒の動きが見て取ることができます

す。

画像 57 は生徒一人一人がめあての達成（課題解決）に向けて学習活動をしている場面です。

自分の席の隣や近くの人と学び合っても解決できない場合や、同じ課題解決に取り組もうとしている時は画像のように席を離れて学習します。

実際の場面では生徒の主体性が次のような動きから見て取れます。

- ① 課題解決を目指す5名の視線が同じ方向を向いている。
- ② 4名の生徒がテキストの同じところをペンや指で指している。
- ③ 男女の別に関係なく学習課題で繋がっている。

画像 57 の左で立ったまま話をしている男子生徒は、他のグループからこのグループに説明をしに来ています。この男子生徒の説明に対して3名の女子生徒は質問を繰り返したり、自分の考え方が正しいかどうかを声に出して確認したりしています。画像右下の男子生徒は立ったまま説明をしている男子生徒の話に相づちを打っています。A L はこのように学習内容が分からなければ仲間同士に何回も聞き返すことができます。立ったまま説明をしている男子生徒は、相手が理解するまで説明しようとするとアウトプット、インプットを繰り返す中で自身の学力も高めます。説明を求めている女子生徒も繰り返し聞くことで学習内容の定着を図ることができます。

このようにグループによる主体的な学習が教室内で多く見られるのがA L の特徴と言えます。

画像 58 は理科の授業風景です。A L の授業は1単位（50分）の中の多くの時間でこのような風景が見られます。授業中、グループで学習している生徒もいれば、個別学習を取り組んでいる生徒もあります。手前の女子生徒は、顕微鏡で観察します。一斉講義型授業であれば、授業の流れの中で、自分で考える時間、グループで考えを出し合う時間、観察する時間が設定されているため、学習内容の理解や納得に差が出てきます。

ちなみにA L の授業を1コマ（50分間）の流れは次表のようになります。



【画像 57】

対話的学習活動の一場面【H28 鏡中】



【画像 58】

A L の一場面【H28 鏡中】

流れ	生徒・先生の動き	ようす
授業序盤 0分～	<p>① 事前に確認済みの学習課題（めあて）に各自取り組みます。</p> <p>② パーソナルワークという時間帯が設定されておりますが、わからなければ仲間に尋ねてよいとしています。</p> <p>※ ワークシートは前時に配布しておきます。</p>	
授業序盤 10分～	<p>③ 徐々に生徒が席を離れだします。離席した生徒は自分の解答が正しいのかを確認するためです。</p> <p>④ 異なる生徒の中には、課題解決が思うように進まない生徒に呼ばれて移動していることもあります。</p>	
授業中盤① 15分～	<p>⑤ 生徒は互いにヒントを出し合ったり、教え合ったりして学び合いを進めます。先生はグループに入り、生徒の思考がさらに高まるよう課題を示したり、より良い説明の仕方やヒントの出し方をアドバイスしたりします。</p> <p>⑥ 気になる生徒へは個別に先生が教える場合もあります。</p>	
授業中盤②	<p>⑦ グループ自体を気になる生徒の周囲に移動させることもあります。</p> <p>※ 大切なことは、先生が生徒の動きを把握している事です。一人で課題解決しているのか、それとも一人になってしまっているのか、を見分けるセンスが一人をなくします。</p>	
授業終盤① 30分～	<p>⑧ グループによっては深い学びになっていることもあります。つまり、主体的に横断的学習を始めていたり、自身の専門的な知識を仲間に広げたりする場面が見受けられます。</p> <p>⑨ 「教えて欲しい。」と頼まれた場合は必ず対応するのが学習ルールです。</p>	
授業終盤②	<p>⑩ 課題解決ができた生徒は、クラス全体を見渡して、困っている生徒のもとに行ったり、互いの意見をさらに高度なものにするために意見を出し合ったりします。この授業では「一人も見捨てない。」が大原則となっていますので、生徒は課題解決の全員達成を目指します。</p>	

(2) 生徒の孤立・孤独を生まないA L

① 対話的な学習活動を重視するA L

A Lは対話的な学習活動の時間を重視します。学習課題を確認し、学習内容を理解できれば生徒は主体的に学習活動を進めます。

A Lによる授業は、年度当初のガイダンス、つまり生徒が主体的に学習活動を行うための説明が重要です。A Lはグループによる学習活動やグループを超えた学習活動を重視していますので、ややもすると仲の良い者同士が常に一緒に学習したり、孤立している生徒の周囲には誰もいなかったりする場面が予想されます。

そこで、ガイダンスの時には、主体的学習の手立てをレクチャーするとともに、仲間へのかかわり方も考えさせなければなりません。その手段は、先生として想定できる不本意な学習活動の場面を生徒に知らせて、そうならないように考えさせることもできるでしょう。また、学習集団として仲間とのかかわり方を見つけることができないようであれば、先生が学習のルールを定めて生徒に理解させることもできます。大切なことは、常に孤立した友だちを出さない、孤独感を感じる仲間を生まないために生徒同士のかかわり方を身に付けさせることです。

当然の事ですが、年度当初のガイダンスで右のような学習ルールの共通理

解をしても生徒は守ることができるものではありません。授業では常に先生がこのことを確認します。一人になっている生徒がいればその様子を観察します。孤独感を感じているようであれば、他の生徒とつなげなければなりません。外の景色に気をとられている生徒がいれば、「大丈夫、一緒にやろうか。」と他の生徒に声をかけさせるのは先生の役目です。分かるまで聞こうとしているかを観察するのは先生です。途中で投げ出そうとしているのであれば、先生がその生徒の学習意欲をつなぐかかわりをしなくてはいけません。授業に関係ない話題をしていれば注意するのは先生ですが、他の生徒に声をかけさせるのも先生です。生徒の孤立や孤独を生まないためには、先生が観察力を高め、意図的に生徒同士のかかわりを仕組むことが求められます。

～A Lにおける学習ルール～

- *一人にしない。
- *おせっかいを焼く「大丈夫？」の声かけ
- *分かるまで聞く、分かってもらうまで話す
- *授業の最後は全員がわかっている
- *NGワードは使わない（学習に関係ない話）

② 「気にしたい生徒」「気になる生徒」

勉強をすれば、将来は少しでも幸せになれるということ、勉強ができるようになると樂しくなるということ、そして友だちと一緒に勉強することは何よりも楽しいということ、この

3つのことはどの子も分かっていることです。口に出して言わないのであれば、「もう遅い。」と思っていたり、その言葉を口にすることで自分自身を責めてしまうようで怖いと感じたりするからです。

「気になる生徒」「気にしたい生徒」授業に参加できずにいる生徒の理由は社会的、または家庭的な理由で登校できない生徒も含めて「気にしたい子どもたち」、「勉強が分からなくなっこことで学校がおもしろくなかった。」と「良好な人間関係を築けなかった。」の2つが「気にしたい生徒」「気になる生徒」の理由と言えます。

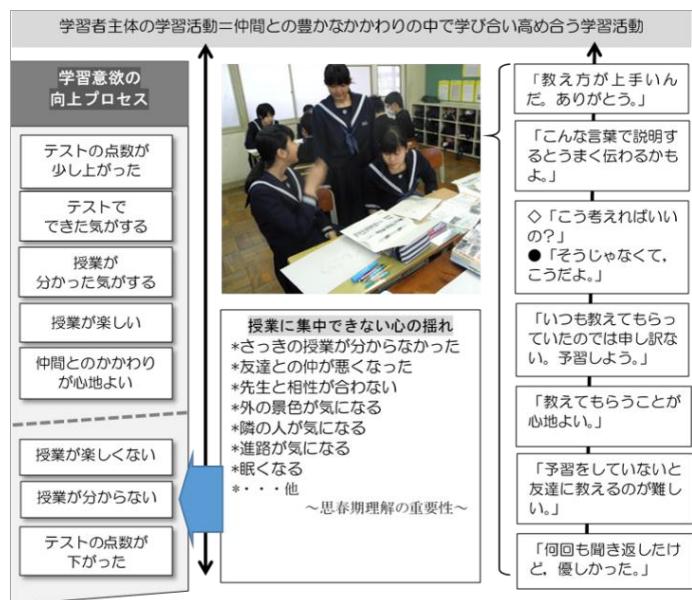


対話的学習活動の一場面【H27 第一中】

③ 学校生活の8割は授業

授業は1日の学校生活の中で8割以上の時間を占めています。もし、心に大きな悩みを抱えている生徒がいるとしたら、その生徒はきっと授業中もその事を考えて思い悩むでしょう。せめて授業では、勉強が分かった喜びや友だちとの良好な関係でいることの喜びを感じさせてあげたいものです。

仮にA.L.が年間通して行われるのであれば、生徒の心の揺れは大きくならずすみます。一斉講義型授業にありがちな、「今の先生の話を聞いていなかった。」や「今の先生の話、分からなかった。」な軽減します。ノートをきれいに書くことに学習の喜びを感じている生徒も減少するでしょう。学び合ったり、教え合ったりすることで、これまで話したことのなかった級友と話すことができる喜びや、ていねいに教えてくれたことで友達の新しい良いところを発見することもあります。



学習活動を通して人間関係の構築も期待できるのがA.L.です。

少なくなくからず「気になる生徒」や「気にしたい生徒」は救われるでしょう。

2 不登校を生まないAL

不登校、不登校傾向の生徒を生まないために学人権に関する学習、や人間関係を構築するためのチが仕組まれます。

しかし、教科・領域等の授業においては、不登校視点で論することはあまりありません。なぜなら学力を高めることが授業の目的としているから

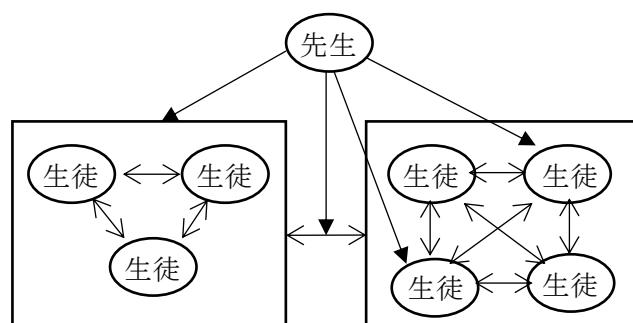
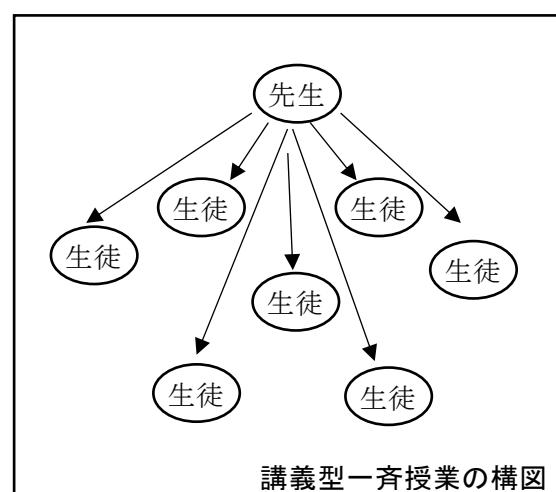
無論、講義型一斉授業で不登校、不登校傾向とは非常に難しい取り組みとなるでしょう。講義型を肯定感を高める手立てを仕組むならば、生徒指導の3機能を意識した授業を展開することはできますが、それでも「先生→生徒」という1生徒と先生の双方向の関係を超えることは考えられません。

ALでは、1単位の授業(50分)のほとんどの時間で画像のような学習活動が進められます。このような学習活動を展開すると、分からぬところは何回も仲間に尋ねる、グループや近くの仲間では解決できない課題に遭遇するときは席を離れてでも遠くの仲間に尋ねることができる、複数人が一緒に課題解決を行う、教えることで略述する力を身に付けたり、問い合わせすることで何回もアウトプットしたりします。仲間との学習を通したかかわりにより、居場所を見つけることができたり、居心地の良さを感じたりすることができます。図のように「生徒↔生徒」の構図が成り立ちます。

「生徒↔生徒」と構図が成り立つと、そこには生徒同士の信頼関係が芽生えたり、深またりします。「教えてくれてありがとう。」や「C君に尋ねたら、分かるまで教えてくれた。」という感情の自然発生を期待できるのがALです。このような感情は教科に関係なく生徒は授業の中での居心地の良さを感じることができます。



対話的学習活動の一場面【H29 鏡中】



A L の構図

講義型一斉授業であれば、先生の話を聞く、板書を写す、ときどきしながら発表をするなど一方的なことで緊張感を持つこともあれば、考え方をしたりすることがあるでしょう。しかし、ALは授業の大半が仲間とのかかわりの中でインプット・アウトプットを繰り返しますので気の向く方向が仲間や学習内容になります。また、先生は生徒を可視化したり、個別やグループに対応したりすることもできます。

さて、このような学習形態、学習活動では、「自由に学習させると一人ぼっちになる生徒がいないか。」や「仲の良いグループにならないか。」などの疑問がありますが、そこは学習ルールを設定することで解決できます。教科の学習は個で行うものではなく集団で行います。そうなると学習内容には単元の目標（めあて）があるように集団で学習に臨むための目標も設定しなければなりません。「一人でも課題が解決できない仲間を出してはいけない。」や「一人にしない。」、「仲間の課題解決が大丈夫であるかどうかをいつも意識しておく、声をかける。」などです。授業を通して仲間の良さを引き出す、仲間の良さを広く紹介する、仲間とともに自身の良さも伸びるという視点においては、ALそのものが開発的生徒指導と言えます。



3 ALで救われた生徒の話

ここで紹介する生徒の話はある中学校で『学び合い』が行われるようになって救われた生徒の話です。この中学校では、校内研究で主体的な学習活動を研究することになり、『学び合い』を取り入れました。授業改善は教科の特性や先生の経験年数の違いから、「はい、明日から一斉に行いましょう。」とはいきません。できる教科から、できる先生から徐々に始めていきます。この生徒が在籍していた頃は『学び合い』を全校的に始めたころです。その生徒が卒業証書授与式の後にある先生に話したことです。

「先生、卒業式の日にこんな話をしてごめんなさい。でも、伝えておきたかったので。」
彼はそう言って話してくれた。

聞けば、そうとうないじめを受けていたと言う

名前で遊ばれる
落書きされる
物隠しをされる
後から押される
グループ外しをされる
提出物集めの時、自分だけとばされる

小学校中学年から始まつたいじめは6年生まで続いた

「みんなと同じ中学校になんか進みたくない、」
母親と毎日のように涙を流した
だから、近隣の国公立、私立はすべて受験した
でもうまくいかなかった

泣く泣く迎えた中学校の入学式
母親とうなだれながらも真新しい学生服にかすかな期待をした

入学してからもいじめは続いた
自分のプリントだけ、親指の爪と人差し指の爪で挟んで、まるで汚いもののように
自分がしゃべると、耳をふさぐ人がいた
隣の人の机がものの数センチ遠い
自分の左に座る人はみんな右手で頬杖をつく
誰も気づかないようないじめだった

2年生になって、『学び合い』が始まった
余計に孤独を感じたが、別にいいと思った
ただ、これまでと違うのは
先生がよく机の横に来てくれる
これまで話したことのなかった人が、
「みせて。」っていっててきた

半年過ぎて気づいた
自分のまわりにいつも2、3人がいる
「みせて。」が「教えて。」に変わってきた
うれしいと感じた
教えるだけでそんなに喜ばれるのであれば、もうちょっと勉強しようと思った

そんな折りに、先生はぼくに無茶ぶりをしてきた
「第一次護憲運動について20分、授業してくれないかな!?」

『できるわけないじゃん、俺、いじめられてるんだよ。』って心で呟きながらも、
断りきれず、受けた

文字や線が斜めにならないように練習した
文字の大きさも、チョークの色も、
何回も何回もやり直した
話す順序も、みんなが「はっ」と思うように並び替えた
だから、伝えたかったことはだいたい伝えられた
話すことと、だいたい同じように黒板に書いた

時間内に終えた
先生は、「練習通り。」と耳元でささやいてくれた
うれしかった
いつも、僕に聞きにくる女子もだけど、少し拍手が多いように感じた

それから、いじめはなくなった
僕をいじめていた人は、
上から目線だけど、
「教えろよ」と寄ってきてくれた

他の教科でも、「そうならないかな。」と思ったので、頑張った
やがて、数学の先生が『学び合い』を始めた
まもなく国語の先生も『学び合い』を始めた

そして、僕はかわった

彼の横には、肩をふるわせながら
ずっと下を向いたままの母がいた
その足元には
滴るように落ちる零が溜まりをつくっていた

母は何かを言いながら深く頭を下げた
そしてふたりは、校門から外へと
大きな一步を力強くふみだしていった

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と保護者や地域がより良い学校づくりのために知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みです。

現在、コミュニティ・スクールは文科省や都道府県教育委員会で研究指定を受けた学校、地域が運営を進めていますが、将来的には全ての中学校区で立ち上がることとなるようです。



1 地域ぐるみの「おらが学校」イズム

昭和の頃の記憶をたどれば小中学校は「地域の中心」とのイメージが強く、それこそ母校愛が強く子や孫のためなら、と樹木の剪定や草むしり、危険箇所の看護など、呼びかけなくとも厚意で行われていたという印象が残っています。コミュニティ・スクールはそのような「おらが学校」観の復活を期待した地域教育力の活用と言えるのではないかと考えます。校外では児童生徒の登下校時には地域の人が通学路沿いで草むしりや庭いじり（ガーデニング）をしながら、「行ってらっしゃい。」「お帰り。」の言葉かけがあったり、校外学習があれば、学習場所に待っている地域の人が地域の歴史を語ったり、学校からの帰り道にあるおばあちゃん家で麦茶とおやつをいただき昔話を聞く、そんな風景なのかもしれません。

(1) 地域ぐるみで

「向こう三軒両隣」、この言葉も今は死語に近いかもしれません、以前は地域のつながりも深く、地域全体で地域の子どもたちにかかわる地域社会が成立していました。休日の朝は、町内全世帯で溝掃除を行ったり、回覧板は必ず手渡しをしていたりしたものです。子どもたちは近くの同年の友達や年齢の異なる集団で遊んでいたものです。当然のことながら、町内行事に

参加することで保護者だけでなく、地域社会からも自ずと子どもへのかかわりが深まりその中で豊かな人間性が育まれていたと考えられます。地域の異年齢集団で遊ぶ子どもたちは、その中で、上下関係や、仲間の大切さなどのコミュニケーション能力を身に付けていたわけです。

しかし、現在は各家庭におけるそれぞれの価値観のもとに子どもは育っています。放課後は、社会体育や習い事の子どもの時間を占めるようになり遊びの文化がなくなってきたつあるとともに、社会資本の充実により、豊かで便利な生活ができるようになった反面、隣人や地域社会とのコミュニケーションが減少していると言えるでしょう。このような人間関係の希薄化は、結果、地域社会が子どもを見る目、子どもにかける言葉、地域社会から見られる目、かけられる言葉は減少し、子どもは社会性や市民性、はたまた、コミュニケーション能力や規範意識を身に付ける環境の減少を生みます。回覧板は、隣が不在であればポストに入れておくのが常識、まして味噌、醤油、塩の貸し借りはあり得ないというのが地域社会の通念となっていると言えるでしょう。

② これからの「地域ぐるみで」

さて、子どもの良さを引き出し伸ばすためには、その子の実態に応じた舞台（出番）を設定しなければなりません。舞台を設定せずして、「がんばれ」「応援している」の声はただの囁きに終わってしまい、逆に子どもはその言葉が負担となってしまうこともあります。まして、「がんばったのに、何も褒めてくれない。」と子どもが感じてしまっては元も子もありません。「次もがんばろう！」という意欲さえ失ってしまう子もいるかもしれません。子どもに夢と希望を与え、自分に自信をつけさせることが教育というならば、それに見合う舞台と、舞台での成功体験を味わうことを仕組むことが、周囲の役割と言えるでしょう。学校で進める開発的生徒指導では、舞台のことを「出番」と呼び、成功体験を味わうために様々なハードルを「役割」と呼びます（以下、開発的生徒指導における出番、役割、承認は「出番・役割・承認」）。そして、その成功体験は、より多くの人々からの承認で膨らみを増します。つまり、開発的生徒指導とは、子どもの良さを引き出し伸ばすために「出番・役割・承認」のサイクルを子どもの実態に応じて設定することを言います。

学校における開発的生徒指導は、学習場面を通して、全ての子どもに出番、役割、承認場面を実態に応じて設定することです。

地域における開発的生徒指導は、地域ぐるみで、子どもの学校での出番、役割を承認したり、地域社会で設定した出番、役割に参加した子どもを承認したりすることです。

家庭における開発的生徒指導は、子どもの学校や地域での出番、役割を承認することです。



校区の廃品回収を学校で行う
【H16 金泉中】

もちろん、家庭内で設定した家族内の出番、役割もしっかり承認しなければなりません。

また、より多くの人から承認されることで、自分が取り組んだことや頑張ったことに対する自分自身への承認と次への意欲が湧きます。子どもたちの出番、役割に対する承認は、案外狭き環境です。学校で頑張ったことは、学校の先生と家庭で承認されるでしょう。場合によっては、学校の先生だけの承認で終わってしまうこともあります。承認の対象は何も社会で広く認められたり、知られたりすることのみではなく、一人一人の子どもが目的意識を持って努力し、自分が挑戦した出番を成功に導くことができたならば、その全ては承認の対象となります。

どんな「出番」にも価値があり、できるようになったことが素晴らしいことなのです。「以前はこうだったから」や「やっとできるようになった。でも、できて普通だね…」という意識で子どもに向き合うのではなく、その子ができるようになったことだけを見つめ、そのことを承認してあげることが大切なことです。

親であれば、我が子の成績が上がってほしいと思うのは至極当然のことです。もちろん、子どもの実態にもよりますが、40人中35番だった成績が30番に上がれば、5番上がったことをほめてあげることが大切なのに、「まだまだ」や「このくらいじゃ」という承認であれば、子どもはやる気をなくしてしまうかもしれません。子どもが意欲を持って学習を進めることに大人が見通しを持って接するために、今は承認ではなく励ましの言葉をかけることが適切と判断することもあります。上手になりたいと思って一生懸命取り組んでにもかかわらず、なかなかうまくプレーすることができない子どもが他の子ども並みにできたことを「それが普通」と言ってしまったのでは、その子は救われません。できるようになったことをほめてあげて、「もっと上手になりたい」という気持ちを膨らませてあげることが大切でしょう。

併せて、承認の場は広ければ広いほどより多くの人から承認が得られるということで効果的と言えます。そのためには、子どもの出番・役割が広く地域社会に知られないなりません。その出番・役割が学校で設定されたものであれば、家庭や地域を学校からの情報を得ながら、承認のための行動を起こさなければなりません。子どもの出番・役割が地域で設定されれば、学校や地域は、その情報を得ながら承認するための行動を起こさなければなりません。つまり、子どもの良さを引き出し伸ばすためには、家庭、地域、学校が情報を共有し、意図的に承認する環境整備が必要と言えます。

承認は、それぞれの活動を「線」で結ぶことで子どもの出番、役割、承認の場が増えます。つまり「連携」です。小学校と中学校が連携して、子どもの出番を設定すれば承認場面が増えます。地域と学校が連携して出番を設定すれば、子どもの承認場面が増えます。学校、地域、家庭がそれぞれの立場で行っている出番、役割、承認を「線」で結ぶことによって、子どもには出番で活躍するという大きなチャンスを与えることになります。

このように開発的生徒指導を通して、地域全体が意図的に子どもにかかわることで子どもの良さを引き出し伸ばすことをコミュニティ・スクールのねらいとします。

2 唐津一中の例

右図は、開発的生徒指導の広がりを表した図です。図のように、地域、家庭、学校が連携することで開発的生徒指導のさらなる深まりが期待できます。

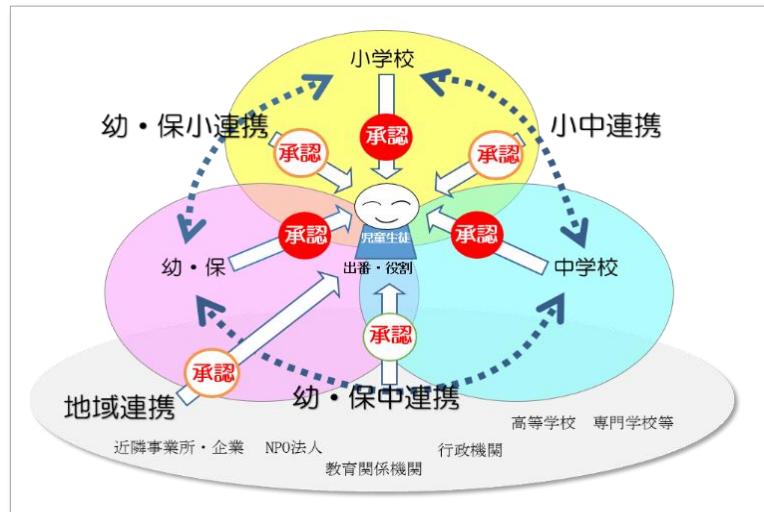
唐津一中はこの理念に基づいたコミュニティ・スクールが展開されています。

校区民体育大会や校区内小学校の運動会でのボランティア活動や地域の清掃活動、小学生に対する学習ボランティア活動などは生徒会を中心に毎年企画され実践が定着してきたものです。（下表「唐津市立第一中学校の地域連携一覧表」参照）このような地域連携は多くの学校で実践されているものと思われますが、コミュニティ・スクールとしてのねらいは、このような活動に地域住民が参加すること、参加せずとも揮発的生徒指導の理念に基づき、児童、生徒の出番、役割を意図的に承認することとなります。そのためには、学校運営審議会が分担して連携行事や活動に参加し承認場面を観察し開発的生徒指導の理念に基づいて評価をすることです。さらにその評価を地域に広く広報することで地域に密着した開かれた学校となります。

コミュニティ・スクールの創造は何も難しいことではありません。校内外における生徒の出番を設定し、地域に広く情報発信を行い、人が意図的に承認することです。児童、生徒の登下校時にすこしだけ大人の愛情のあるまなざしを子どもたちに向けてもらえば良いのです。川掃除をすれば、あえて手伝うことはできないが、清掃活動をしてくれたことへの感謝のメッセージや応援メッセージがあれば良いのです。

下表で紹介した以外にも、地域貢献に類するボランティア活動は多々あります。「唐津おくんち前清掃活動」、「唐津おくんち後清掃活動」は主に中学1、2年生の学年行事として行われ、地域も参加します。「フラワーポット街頭設置活動」は唐津市の中心街を美しくしたいという願いから近隣の園芸関係事業所からの協力を得て約100個のフラワーポットを設置します。中学生がフラワーポットの設置を行った折にはそれぞれのフラワーポットの管理責任者となる生徒の紹介、そして水やりのお願いをします。

このような地域における教育文化を構築することで昔流に言えば「おらが学校」観の再構成ができます。



開発的生徒指導による地域連携デザイン
～承認場面を構築する地域連携～

唐津市立第一中学校の地域連携一覧表

5月		
[校区民運動会ボランティア活動] 通常、地域の体育協会の方が行いますが生徒が道具係や決勝審判係をします。	[虹松クリーン大作戦] 松葉は腐葉土となり草が生えますので松葉かきをします。地域の方や小学生、高校生も参加します。	[エコキャップ受取り] 中学校内での収集のとどまらず、小学校や他の施設へもお願いに行きます。
		
6月～7月		
[読み聞かせボランティア活動] 児童クラブや公民館に出向き小学生低学年や幼児を対象に紙芝居したり昔遊びをしたりします。	[町田川清掃] 町田川の清掃活動は地域で行いますが、学校の近くでもあるので多くの生徒が参加します。地からの参加もあります。	[登校時プチ清掃ボランティア活動] 自宅から買い物袋を持ち通学路のごみを拾いながら登校します。中学生が近所の小学生を誘って一緒に行います。
		
8月～9月		
[夏休み学習ボランティア活動] 児童クラブや、小学校のサマースクールに出向き、宿題のお手伝いをします。主に中学1年生が活躍します。	[小学校運動会ボランティア活動] 道具係、決勝審判のお手伝いをします。迷子の案内もします。MCは小学生と一緒に行います。	[文化発表会案内活動] 10月下旬に開催される中学校の文化発表会参観のご案内を小学校の各学級で行います。
		

11月～

[小6対象学校説明会]

生徒会と実行委員会が中心となり企画運営を行います。



[中学校英語体験学習]

小学6年生が中学校の教室で中学校英語の授業を受けます。



[英語限定出前授業]

英語の先生が小学校6年生を対象とした出前授業に行きます。



学校運営審議会（年3回）



コミュニティ・スクールは学校運営審議会（年3回）で運営されています。上記の活動を15名の審議会委員が手分けして参観したり一緒に活動したりします。審議会では、それぞれが、児童生徒の様子や地域のかかわり方、学校への期待や希望となる意見を出し合い、地域に根付いた活動とすることをねらいとしています。また、学校運営審議会の委員が地域連携における児童生徒の良さの伸びを地域に紹介したり、参観、参加を呼びかけたりします。

3 コミュニティ・スクールの将来

「地域や保護者が学校と連携、協働して子どもを育てることが狙い。地域を元気にするツールにもなる」としてコミュニティ・スクールは東日本大震災後、約2,000校に増加しています。

大河ドラマを見ているお年寄りがその時代のことを知りたいと思えば、社会の授業に参加したり、パソコンが上達したいと願う地域の方がいれば、一緒に技術の授業を受けたりします。コミュニティ・スクール先進校は、このように地域のお年寄りが子どもたちと一緒に学習したり、実技的な学習場面では外部ボランティア講師となったりしながらインテリジェント・スクールの色合いを出してきています。コミュニティ・スクールが目指す姿が見えます。



出典: 東日本大震災後に急増 コミュニティ・スクールが約2,000校に | Benesse 教育情報サイト ヘッドライン